

---

**ディケイド × エヴァ × アスラクライン × REBORN 超スピンオフ DEAR**

XX

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ディケイド×エヴァ×アスラクライン×REBORN超スピンオフDEAR

### 【Nコード】

N0897T

### 【作者名】

XX

### 【あらすじ】

XXの全作品のキャラが集まり引き起こされるのはカオスと混沌と笑いと友情とツッコミと不遇と激情と制裁と爆発と毒物料理と破壊神と超越神と破壊龍神と混沌神とツッコミ3大神と数少ない常識人が織りなす、息抜きと思いつきから始まるドタバタコント劇！時には作者も参加して、下手をすれば鉄拳制裁！？  
み・み・み・みっろよー！（読むの間違いだろ！byショウイチ）

## ファイル01

### 「NERV式オーメダル適合事情」

XX「てなわけで、番外編第1回目〜!!」

シンジ「いや、いきなり?」

XX「シンジ細かいことは気にするな」

シンジ「いや、気にするって」

XX「さて、今回のテーマは、ハルルさんの作品「ディケイド&amp;mp;スマブラ!超スピノフCORE」から、ネタをお借りして、オーメダルだ!」

士「オーメダルか。面白そうだな」

XX「ちなみに、リイマジと光写真館一向は、やんないからな」

リイマジ全「なぜに!?!」

XX「ハルルさんのでわかりきってるから」

セツナ「なるほどな」

アスカ「納得しちゃうんだ」

XX「さて、時間が無いから、さっさといくぞ」

全「おいこら、ちよつと待て〜!!」

ドライバーとメダルは、リツコの作った疑似ドライバーと疑似メダルを使います

セツナ「じゃあ俺からな」

シンジ「でも疑似って大丈夫なの?」

リツコ心配無いわ。完璧に模して作ったんだから」

セツナ「じゃあ…あれ?タカとトラが入らない」

シンジ「え?」

セツナ「あ、やっと入った」

「クワガタ!カマキリ!バッタ!…ガーツタガタガタキリツバ、ガタキリバ」

S「ガタキリバ」「これはできたな」  
アスム「ほかは？」

S「ガタキリバ」「え」と、これだ！」

「シャチ！カマキリ！タコ！」

S「シャキリタ」「俺は緑と青適合だな」

XX「じゃあ、紫は？」

S「シャキリタ」「無理みたいだ」

XX「残念……」

トウジ「次はわいやな」

「タカ！トラ！バッタ！……タツツバ、タ・ト・バ、タトバー！」

T「タトバ」「これは……」

「タカ！カマキリ！チーター！」

T「タカキリーター」「……」

「クワガタ！トラ！タコ！」

T「ガタトラタ」「わいは、赤と黄色と緑と青で、必ず亜種コンボみたいや……」

シンジ「トウジ、元気だして」

ケンスケ「よし、俺様はどうだ。……ってあれ？どれも入らない」

アスカ「つまり、適合メダルなし？」

リツコ「わかったわ」

ケンスケ「え？」

リツコ「超適合能力があるなら、超不適合能力もあるはず。つまり、相田君は超不適合能力を持っていると考えられるわ」

ケンスケ「そ……そんなー」

ヒカリ「今度はあたしね」

トウジ「ヒカリ、がんばってや」

ヒカリ「ええ。それじゃあ……変身！」

「ライオン！カマキリ！チーター！」

Hラキリーター「後は…」

「ライオン！トラ！チーター！…ラトラターラトラター♪」

Hラトラター「黄色とカマキリ適合ね」

XX「おいしい」

アスカ「真打ち登場ね」

シンジ「アスカ、無理しないでね」

アスカ「わかってるわよシンジ♪…変身！」

「タカ！クジャク！コンドル！…タ〜ジャ〜ドル〜♪」

Aタジャドル「赤だけ適合みたい」

シンジ「アスカのイメージカラーは赤だもんね。似合ってるよ」

Aタジャドル「ありがと♪シンジ♪」

クウガRU（黒目）「いい加減にせいや」

良太郎「じゃあ僕やってないんで、僕がやります。…変身！」

「コブラ！カメ！ワニ！…ブラカ〜ワニ♪」

Rブラカワニ「えーと、これって…」

タクミ「ネタバレのブラカワニ？」

Rブラカワニ「みたいです…」

ゲンドウ「ふっ、次は私だな」

XX「お前もやるのか？出番無し」

ゲンドウ「問題無い」

「サイ！ゴリラ！ゾウ！…サゴーズ、サゴーズ！…」

Gサゴーズ「なんだこれは」

XX「あゝ、髭眼鏡でゴリラみたいな顔だから？」

シンジ「でも、僕ってその血が流れてるんですよ？」

セツナ「大丈夫だ。おじさんはおばさんに勝てないように、血でも勝てないから」

Gサゴーズ「どうせ、俺なんて…」

シンジ「父さん！元気だして」

Gサゴーズ「他のはどうだ？」

「シャチ！ゴリラ！タコ！」

Gシャゴリタ「なぜ？」

XX「髭眼鏡は、白とシャチ、タコ適合って」

ユイ「私はどうかしらね」

「シャチ！ウナギ！タコ！…シャシャシャウタ♪シャシャシャウタ♪」

Yシャウタ「これと…」

「ライオン！ウナギ！チーター！」

Yラウーター「これと…」

「タカ！ウナギ！コンドル！」

Yタウドル「あとは…」

「クワガタ！ウナギ！バッタ！」

Yガタウバ「えーと」

「サイ！ウナギ！ゾウ！」

Yサウーゾ「これみたいね」

ワタル「つまりユイさんは、青とタカ、コンドル、クワガタ、バッタ、ライオン、チーター、サイ、ゾウ適合みたいですね」

キョウコ「ウナギが外れないのね」

キョウコ「じゃあ、私は♪」

「タカ！クジャク！コンドル！…タ〜ジャ〜ドル〜♪」

アスカ「あたしと同じ」

Kタジャドル「それじゃあ」

「クワガタ！クジャク！バッタ！」

シンジ「なんか落ち着かないな…」

Kガタジャバ「えい♪」

「ライオン！クジャク！チーター！」

K ラジャーター「ふふ」

「シャチ！クジャク！タコ！」

K シャジャタ「あとは…」

「コブラ！カメ！ワニ！…ブラカワニ」

K ブラカワニ「こんな感じね」

アスカ「えーっと、赤とオレンジで、あとクワガタ、バッタ、ライオン、チーター、シャチ、タコ適合？」

カズマ「ユイさんとキヨウコさんのパターンがほぼ同じ…」

リツコ「私はどうかしら？」

「タカ！トラ！バッタ！…タットツバ、タ・ト・バ、タトバ…！」

R タトバ「基本フォームはできたわ。…じゃあ」

「ライオン！トラ！チーター！…ラットラター、ラトラーター」

R ラトラーター「これみたいね」

ソウジ「黄色とタカ、バッタ適合か」

シンジ「最後は僕ですね」

シンジ（辰巳）「どうなるんだ？今のところコンボは紫以外はでてるけど…」

シンジ「あれ？赤、緑、黄、白、青、オレンジ全部入らない？」

セツナ「それって…まさか！」

XX「そのまさか、だったりして…」

シンジ「あつ、入った！」

「プテラ！トリケラ！ティラノ！…プットティラーノザウルス」

S プトティラ「できた」

アスカ「流石はシンジね」

S プトティラ「ありがとう、アスカ」

XX「シンジはプトティラのみのチート適合つと」

セツナ「そっぴえばタマシーは？」

XX「忘れてたな。え〜っとシンジはタカ不適合だから無理か」

アスカ「じゃあ、あたしがやってみる」

XX「ほい、イマジンメダルとショッカーメダル」

アスカ「ありがと。あつ入った」

全「「えっ」」

「タカ！イマジン！ショッカー！…タマシー、タマシー、ライダー魂！！」

Aタマシー「やった」

シンジ「すごいよ！アスカ！」

Aタマシー「ありがと」

XX「チートカップル？」

シンジ「…作者、なんか言った？」

XX「えっ…」

セツナあーあ、シンの逆鱗に触れたな…」

「タカ！イマジン！ショッカー…タマシー、タマシー、ライダー魂！！」

XX「えっ」

全「「ええええええええ！！」」

「スキヤニングチャージ」

Sタマシー「せいやあああああ！！」 ↑タマシーボンバー

XX「ギアアアアア」

セツナ「シンは通常プティラのみで、激情体でタマシーも適合か…。チートすぎる」

Sタマシー「セツナ何か言った？」

セツナ「いいえ、何も」

XX「ぐふう」 ↑黒焦げ

アスカ「じゃあ、また別の機会に〜」

キバット「シーユースト」

ワタル「Σキバットが締めた」

ハルルさんの作品「ディケイド&スマブラ！超スピノフCORE」  
「は大好評連載中！」

## ファイル02

### 「使徒解説全集第1回目」

XX「さーて、あんまり間は開けてないが、番外編第2回目だ！」  
シンジ「また！？今度は何をやる気！？」

XX「今回は使徒についてだ。ちなみに3体出ることになるから、えーと…ネタバレになるが後5回はやるつもりだ」

シンジ「そう…」

XX「ああ、それといつかセツナの過去やシンジとのビギンズナイトなんかもやろうと思ってるから、そのつもりで」

シンジ「はあ、企画倒れにならないで下さいよ」

XX「善処する」

セツナ「じゃあまずは、サキエルからだ」

#### 第3使徒 サキエル

・水の天使

・人間態は二十歳ぐらいの男

・武器は光の槍と目から放たれる光線

シンジ「最初の相手だね」

セツナ「ああ、確かライトニングファイターで倒したんだよね」

シンジ（辰巳）「このときリュウガも仲間になったんだよね」

リュウガ「ああ、今のところダークライダーは俺しかでてないな」

タクミ「このときって、ソウジさんがハイパーフォームになったんですよね」

士「もう情け無用だったな」

カズマ「次はシャムシエルだよ」

#### 第4の使徒 シャムシエル

・昼の天使

- ・ 人間態は大学生くらいの女性
- ・ 武器は光の鞭
- ・ とてつもないDS

シンジ「これは面倒だったね」

セツナ「鞭だもんな。これは流石にルナにすると絡まるから、イカみたいなやつだったから、ヒートメタルで倒したんだよな」

ワタル「この戦いで印象深いのはユウスケですね」

アスム「すごいですよ。あの巨大なオトロシをマイティキック一発で吹っ飛ばしたんでうから」

カズマ「そういえば、抜け出した子がいたけど…」

セツナ「あいつはほっというでもいい。というか潰されればよかったのに」

ユウスケ「セツナ君、機嫌悪い見ただけでどうしたの？」

セツナ「あの変態、アスカさんを盗撮してシンに半殺しにされたのに、今度は和葉やミサ姉のことを盗撮してたんです」

智春「なんだって！！ゆるさん…」

「タカ！トラ！バッタ！…タットツバ、タトバ、タ・ト・バ！！」  
オーズ「あの野郎…絞めてくる」

「フアング」

フアング「俺も」

操緒「トモ」。それネタバレなんだけど」

和葉「ていうか、お兄ちゃん！セツナ！落ち着いて！！」

アスカ「最後はラミエルよ」↑無視

## 第5使徒 ラミエル

- ・ 雷の天使
- ・ 人間態は15〜16ぐらいの少年
- ・ 加粒子砲を持つ
- ・ 初めてA・Tフィールドを使った使徒

シンジ「この使徒はいろんな意味で布石を置いた戦闘なんだって」  
アスカ「このとき先生じゃないディケイドがでたのよね」

士「俺以外のディケイド…一体だれなんだ？」

XX「それは教えない」

タクミ「皆さん気づいていませんが、この使徒がW以外の仮面ライダーが倒した使徒ですよ」

良太郎「そうだね」

XX「ラミエル戦と言われると、ヤシマ作戦しか思い浮かばないからな。長距離射撃ができるライダーってファイズかカブトだから、ファイズにした」

シンジ（辰巳）「その根拠は？」

XX「ファイズは平成の中で結構好きなんだよ。一番はまったのは龍騎だったけど」

智セツ「ただいま」↑ 返り血浴びてる

Wシンジ「二人共変身してたのに何で返り血浴びてるの!？」

XX「さて今回はこれでお開きだ」

シンジ「まあ、振り返るのにはいい企画でしたね」

セツナ「今回は使徒だったけど、他には何かやるのか？」

XX「んー、ネタとしてはリイマジ全員でキャンプとかな」

アスカ「面白いそうね」

XX「んじゃ、これでおしまい。最後はみんなで」

全員「『『全てを破壊し、全てを繋げ!』』」

ファイル03

「コラボとサインと激情体」(前書き)

コラボです。

## ファイル03 「コラボとサインと激情体」

シンジ「さてと何か言い残したことはないね？」

XX「えーと…ってちよっおいシンジ？」

激情体シンジ「いい加減にしようか？」

「タカ！イマジン！ショッカー！…タマシー！タマシー！ライダー魂ー！！」

「スキヤニングチャージ」

Sタマシー激情体「せいやあああー！！」

XX「ぎゃああああー！！」

セツナ「で…今回は何をするんだ？」

XX「ああ、今回の番外編はコラボだ。そしてゲストは、ツカサさんの作品「ハートチャップリキユASTRIKERS」から明堂院いつき、月影ゆり、そしてポプリだ！」

いつき「こんにちは」

ゆり「お邪魔するわ」

ポプリ「ですう」

XX「じゃあ今回のメンバーはシンジ、セツナ、アスカ、ヒカリ、智春、操緒、和葉でいくぞ」

ヒカリ「えっ！本物のいつきとゆりさん！？ファンなんですサインしてくださいー！！」

いつき「えっと僕らのでいいの？」

ヒカリ「はい！！」

ゆり「じゃあ…はい」

ヒカリ「ありがとうございます！」

アスカ「ヒカリテンション上がりすぎよ…」

ポプリ「ポプリの分はいらないんですか？」

ヒカリ「キヤー、アスカ！見てポプリよ」

アスカ「ヒカリ…」（^^”）

ヒカリ「ポプリは…ここに書いて！」

ポプリ「はいですう」

シンジ「委員長壊れすぎだよ…」

セツナ「そうだな…」

和葉「でもさ、こうやって本物のプリキュアにあえると、女の子ならテンションあがるよ。ねっミサ姉」

操緒「まあそうかもね」

いつき「あれ？一回あったことありましたよね？」

智春「えっ初対面ですけど…」

ゆり「そういえば朱湊がいないわね」

シンジ「多分、ガタツクさんのとこのトモ兄達でしょ。こっちのトモ兄達は無関係ですよ」

いつき「あっ…そうか」

セツナ「朱湊姉か…今どこにいるんだろう？」

和葉「さあ？」

XX「さてじゃあ…何をする？」

シンジ「決めてなかったの？」

XX「えーとそれはーそのー」

ヒカリ「じゃあ前回やったオーメダルは！？」

いつき「面白そう！やってみたい！」

智春「ねえ、オーメダルとオースドライダーは？」

XX「前回使った、疑似があるから、これを使おう」

いつき「ゆりさんは、ガタツクさんの所でジョーカーになったけど他のハートキャッチプリキュアは仮面ライダーに変身したことないから楽しみ！」

シンジ「じゃあやりますか」

いつき「それじゃあ…。こうやって変身！」

「ライオン！トラ！チーター！…ラットラター、ラトラーター♪」  
「エラトラーター「これは？」

ヒカリ「あたしと同じだ！」

アスカ「いつきはサンシャインつまり太陽だから、ラトラーターか」  
「エラトラーター「あつもう一つできる」

「タカ！クジャク！コンドル！…タ〜ジャ〜ドル〜♪」

「イタジャドル「おお、飛べる」↑羽を展開して飛ぶ

アスカ「いつきは赤と黄色適合つと」

ゆり「今度は私ね」

セツナ「ジョーカーになった時点で嫌な予感しかない…」

ゆり「変身♪」

「シャチ！ウナギ！タコ！…シャシャシャウタ♪シャシャシャウタ  
♪」

和葉「ゆりさんはいつきとは逆ですね」

操緒「ムーンライト、月光って意味だもんね」

智春「嫌な予感が…」

Yシャウタ「これでもできるわね♪」

「プテラ！トリケラ！ティラノ！…プットティラノザウルース♪」

Yプトティラ「最強フォームね♪」

智セツ「ほら、やっぱり！…！」

シンジ「トモ兄、セツナ？」

セツナ「何でもないぞシン」

XX「何でも「シンジ」の系譜は恐ろしいのが多いんだ？」

いつき「あの、あれ…」

XX「ん？」

激情体シンジ「今度こそは消すよ」

「タカ！イマジン！ショッカー！…タマシー！タマシー！ライダー  
魂ー！！」

「スキヤニングチャージ」

Sタマシー激情体「せいやあ ああああ!!」 ↑魂ボンバー

XX「ギヤアアアア!!」

ポプリ「大丈夫でしゅか？」

ゆり「脈はあるから大丈夫よ」

いつき「あつポプリ！ゆりさん！時間！」

ゆり「ああ、そろそろ帰らないとね」

ポプリ「楽しかったです」

シンジ「それはよかった。それじゃあ最後は全員で」

全「」「全てを破壊し、全てを繋げ!」「」

いつき「それじゃあ、僕達はこれで」

ゆり「今日はありがとう」

ポプリ「またいつかですう」

ツカサさんの作品「ハートキャッチプリキュアSTRIKERS」  
は大好評連載中。見てない人にはシンジ激情体タマシーが焼き尽く  
しに行きます

ファイル03 「コラボとサインと激情体」(後書き)

ツカサさんありがとうございました

## ファイル04

### 「使徒解説全集第2回目」

XX「久しぶりの番外編！」

シンジ「今回は使徒が3体でたので、使徒の解説をします」

セツナ「ついでに、使徒戦の裏話もな」

XX「結構、変更点多いからな」

智春「それじゃあ、ガキエルからスタートです」

#### 第6使徒 ガキエル

・魚の天使

・人間態は11〜12歳くらいの男の子

・クジラと同じくらいの大きさ

・水中戦をする

アスカ「あたしの初陣ね」

智春「それをいったらオーズも」

XX「最初からアスカの初陣になるのは考えてた。オーズに関してはイクサとWだけで考えたら詰まったから、シャウタの使えるオーズも出したんだ」

操緒「つまり補正役？」

XX「そういうこと」

セツナ「このときアスラクメンバー参戦したんだよな」

和葉「うん」

XX「もう少し先にしようかと思ってたんだけどな」

テル「さてと、次はイスラフェルだ」

#### 第7使徒 イスラフェル

・音楽の天使

・人間体は15さいくらいの男女

- ・ 2体で1体の使徒
- ・ 分裂し2体での行動も可能

テル「こいつは、苦戦してたな」

シンジ「はい…」

アスカ「あたしとシンジ、辰巳とリュウガのコンビネーションで勝つことが出来なかったからね…」

碇シンジ「結局、僕らで倒したもんね」

惣流アスカ「そうね。エヴァに乗らない分簡単だったわ」

XX「ちなみに、当初はジョーカーとイクサにしようと思ったんだけど、いつ訓練するのかってことになってな」

テル「それで、シンジとアスカを出したのか？」

XX「ああ。原点世界オリジナルのシンジとアスカなら簡単だろって思ってな」  
操緒「最後はサンことサンダルフォン」

## 第8使徒 サンダルフォン

- ・ 胎児を司る天使
- ・ 人間体は赤目・赤い髪の5〜6歳くらいの少女
- ・ 手の平から炎をだす
- ・ 操緒を母、智春を父と思っている
- ・ 人間名は焰部ほむらへサン

シンジ「仲間…というか、トモ兄とミサ姉を親と思ってるんだよね」  
智春「そうなんだよ。門河いわくすりこみと同じ原理らしい」

セツナ「鳥は初めて見た物を親と思うっていうあれか…。使徒に当てはまるのか？」

サン「サンはわかんない」

XX「サンダルフォンに関しては、仲間になるという固定概念が働いていてな。後3体仲間になる使徒がいるぞ」

シンジ「まだ、2人エヴァのメインキャラが出てないんだよね…」

XX「それは…、まだ先だ。もしかしたら出番ないかも」  
全員「「おい!!」」

XX「さてと、時間余ったからオリキャラの紹介すつか」  
テル「俺のことだな」

かどかわ  
門河テル

- ・16歳
- ・仮面ライダーディケイド
- ・管理者の1人
- ・典型的な日本人
- ・髪はボサボサ。というより、髪が硬く短いので逆立っている
- ・礼儀はわきまえているが、口は悪い
- ・基本的には優しいが、怒ると手がつけれない

XX「こんな感じかな？」

テル「なんで疑問形なんだ？」

XX「とりあえず、こんな感じだ。変更は十分ありうる」

テル「まあ、いいか。次はサンだな」

サン「はい」

ほむらへ  
焰部サン

- ・5歳
- ・第8使徒サンダルフォン
- ・赤い目と赤い髪の少女
- ・サンダルフォンの擬人化状態なのである程度の能力は使用可能
- ・孵化した際初めて見たのが智春と操緒だため2人を親と認めている
- ・活発な性格

XX「こんな感じだ」

智春「サンダルフォンだけあって被ってますね」

操緒「そりゃ、おんなじだもん」

サン「うん！」

XX「後2体、名前が決まってないんだよ。出番が先のほうなんて  
まったく思いつかない」

シンジ「ネーミングセンスの無い作者にしてはサンはいい名前だと思  
うけど…安直だね」

XX「まあ、そのつど考える。終わりにするぞ。せーの」

全員「」「全てを破壊し、全てを繋げ！」「」

## ファイル05 「キャラ設定の裏事情」

XX「ネタに詰まったから番外編5回目だ」

シンジ「でもこのタイトルって…」

テル「普通最後か最初にやるべきだよな」

シンジ「それじゃあ、テルさん」

テル「ああ、そうだな」

「ファイナルカメンライド デイケイド」

「タカ！イマジン！ショッカー！…タマシー！タマシー！ライダー魂ー！！」

「ファイナルアタックライド デイ・デイ・デイ・デイケイド」

「スキヤニングチャージ」

DCF「はあああああ！！！！」↑強化ディメンションキック

S 激情体タマシー「せいやあああああ！！！！」↑魂ボンバー

XX「ぐはあ！！」

セツナ「まあ、今でてるキャラの設定の話なんだよな」

XX「さて、まずは主人公のシンジ達だが…」

シンジ「うん」

XX「最初はセツナにボケさせるつもりだったんだが、どんどんツッコミキャラになっていった」

セツナ「おい！」

アスカ「まあ、設定なんて飾りだもんね」

テル「身も蓋も無いこと言うなよ」

XX「まあ、シンジとアスカがくつつくのは決定事項だった。元々LAS派だし」

テル「LASはたしか、ラブラブ・シンジ・アスカの略だよな」

XX「個人的な見解としては、レイはユイさんのクローンだからシンジの妹っていう概念が働いていてな。この設定は揺るがないぞ」

テル「今のでLRS派を敵に回したな」

XX「元々LRS否定派だ！問題ない」

テル「某髭眼鏡の台詞をパクるな」

XX「ついでに言っと、エヴァの世界観はいわゆる学園エヴァだな」

XX「次は仮面ライダーだが、…ぶっちゃけそれ程考えて無い」

リイマジ全「…おい！！」

XX「基本的にエヴァベースだから、あんまりな」

夏海「私は1話以降フェードアウトでしたよ」

XX「ナツウメはもう仕方ない。第一、こそ泥なんて完璧にフェードアウトだった。てか忘れてた」

海東「何でだい」

ユウスケ「くんな、ちり屑」

海東「ああつと、酷い」

ソウジ「それより、シンジ君のお爺さんの家に盗みに入っただろ」

シヨウイチ「Σそれ、ネタバレ！」

テル「よし、俺が許可するからみんなでリンチだ」

全員「…よっしゃあ！！」

海東「え…ちよつと？うぎゃああああ！！」

XX「こそ泥は全最強フォームリンチで塵になりました」

XX「次はアスラクだ」

智春「現在進行形で2巻までしか読んでないよね」

XX「バカ言うな。1巻読めば大抵のキャラは掴める」

操緒「凄いな。そういうえば私は生きてるのよね」

XX「ああ。機巧魔神の設定を考えた時に、機巧魔神とエヴァって似てるなと思っただけ」

シンジ「副葬処女とコアか…」

XX「そう。どちらも人を核にしてるからな。機巧魔神の設定は副葬処女の変わりに使用者のパーソナルパターンが移植されたコアが

使われてる。という設定だ」

和葉「パーソナルパターンって？」

碇シンジ「エヴァとのシンクロに必要な脳波のこと。エヴァはA10神経で神経接続して動かすようにできてるんだ」

シンジ「あれ？僕？」

XX「こいつは管理者。「シンジ」が3人いるとめんどくせえな」

和葉「あたしはどんな感じなの？1巻で少しでただけなのに」

XX「友達からある程度聞いた。そして活発な印象があって、活発」リナレイってことになって、キャラが完成した」

カズマ「リナレイって学園エヴァの？」

辰巳シンジ「カズマ見てたんだ」

タクミ「カズマさんとシンジさんはそういう年代なんじゃ」

テル「最後は俺らオリキャラだな」

XX「テルとセツナは最初から出そうと思ってた」

セツナ「俺は確かガンダム00がモチーフなんじゃ」

XX「ああ。でも一応オリキャラ」

セツナ「そうなのか…」

サン「サンもだよな」

XX「サンはオリキャラなんだが、当初は出るはずじゃなかったんだ。なんか電波を受信してな」

智春「後、3体仲間になるんじゃない」

XX「ああ。それと使徒の瞳は赤で固定だ」

シンジ「それについては納得」

テル「俺に関しては？」

XX「お前はREBORN要素がある。初登場のときの技はREBORN繋がりだからな」

テル「そうなのか…」

XX「今回はこれでおしまいだ。皆でせーの！」

全員「「「全てを破壊し、全てを繋げ！」」」

## ファイル06 「ジオフロント農業体験」

ここは、NERV職員の憩いの場ジオフロント。ここに農作業の格好をした、NERVライダー+テルが集まっていた

テル「…なんでこうなったんだ？」

シンジ「さあ？」

ソウジ「ははは。いいじゃないか、体を動かすのも大切だぞ」  
ショウイチ「まあ、そうだが」

辰巳シンジ「カズマはドジないでね」

タクミ「本当ですよ。ヒマ助の二の舞にならないでください」

カズマ「うえい。でもヒマ助は悪い子じゃないよ！」

ヒマ助「ヒマー」

全員「うわっ！まだ生きてるし！」

セツナ「とりあえず、さっさと始めよう」

シンジ「そうだね。ほら、早く始めましょうよ」

テル「じゃあ、やるぞ。まずは土…バキン！…何があった」

ショウイチ「すまん…」↑真っ二つになった備中ぐわ持ちながら  
アスカ「先行き不安ね…」

〃  
〃  
〃

テル「気を取り直して、まずはくわで土を耕して、うねを作れ」

ユウスケ「よし。やあ！…ってあれ？この、この抜けない…」

ワタル「強く入れ過ぎですよ、ユウスケ」

アスム「ワタルは弱過ぎです」

テル「こういうのはな、頭の上まで振り上げて、振り下ろす…どわっ！危ね！」

シンジ「すいません…」

セツナ「シン、人に向けたらダメだぞ」

アスカ「結構、重いわね」

テル「ライ、お前はやらなくていいぞ。女はあまりむかないからな」  
アスカ「わかったわ。じゃあ、シンジ頑張ってね」↑シンジのほっぺにキスして退場

シンジ「分かってるよ。アスカ」

ユウスケ「貴様ら……」

士「ユウスケ、落ち着け！」

テル「お前ら真面目にやれ！というか、あいつら見習え！」

タクミ「こんな感じですかね」↑すでにうねを作っている

辰巳シンジ「これ、結構難しいな」↑ソウジに教わりつつ

ソウジ「2人ともいい感じだぞ」↑2人に教えながら

セツナ「ソウジさんすごっ」

シンジ「あれ？ ショウイチさんとカズマさんは？」

士「あそこにいるぞ」

カズマ「うええええええい」↑皆の横で頑張ってる

ショウイチ「くそっ。このお」↑振り上げようとする前に超能力でくわが粉碎

テル「とりあえず、津上のリイマジは隔離だな」↑A・Tフィールドでショウイチを隔離

シンジ「A・Tフィールド！？」

セツナ「まさか、あんたも使徒！？」

テル「いや、世界を旅した反動でこうなった」

ソウジ「おい。こっちは終わったぞー」

ショウイチ「ここから出せえええええ！」

ワタル「ショウイチさん出したら、今度はカズマさんを隔離しないと」

アスム「カズマさんは、ドジらなければ大丈夫なのでは？」

~~~~~

テル「次は種まきだ」

智春「種と苗を持ってきましたよ」↑各種野菜や果物の種と苗を持つてくる

テル「サンキュー。じゃあ植えるか」

シンジ「あ、結構簡単にできる」

ワタル「本当ですね。あれ、苗が取れな…」バサ！↑苗を落とす  
アスム「ワタル、何やってるんですか？」

テル「これ、結構難しいし、しゃあないだろ」

ソウジ「そうそう、種を蒔くときはこうやって、人差し指の第2関節までの深さの穴をあけてからまくんだ」

シヨウイチ「おっ、結構簡単だな」

タクミ「ですね」

テル「…あんたは何でそんなに詳しいんだ？」

ソウジ「ははは、おでんと一緒に仕込まれたからな」

カズマ「チーズ！」

士「どうした、カズマ？」

カズマ「ドジった」

士「は？」

カズマ「キュウリが動いちゃった」

動くキュウリ「キューー」

全員「…やっぱり隔離したほうがよかった！」「」

ヒマ助「ヒマー」

智春「ヒマ助が喜んでるんですけど…」

カズマ「ヒマ助、Qちゃんがきてくれて嬉しいのか？」

ヒマ助「ヒマー」

Qちゃん「キューー」

テル「ああっと！名前をつけた！」

ソウジ「ふう。おい、早く手伝ってくれるかー？」

シヨウイチ「まったくだ。それはどうでもいいからさっさと手伝え」

全員「ソウジ、ショウイチ」「はい」「」

~~~~~

テル「最後は水やりをして終わりだ」

シンジ「終わったー」

セツナ「結構きついなこれ」

テル「だろうな。ちなみに、うね作りは機械でやるんだぞ」

智春「じゃあ。何で、手作業で？」

テル「んなもん、機械が無いからに決まってるだろ」

## ファイル06 「ジオフロント農業体験」(後書き)

次回はコラボ!...の予定です

## ファイル07

### 「死ぬ気と覚悟の波動占い」

士「なあ、門河」

テル「どうした、士？」

士「碇とお前が中指にはめてる指輪はなんなんだ？」

テル「ああ、これな。こいつはリングだ。死ぬ気の炎がでるんだ。この属性で性格が分かるっていわれてるけど…」

士「ほう」↑黒い笑み

ユウスケ「士の奴。ろくでもないこと考えてるな」

テル「じゃあない。何をやるのかは分かった。さっさと始めよう。

…ついでに連れてくるか」

ユウスケ「何を？」

テル「内緒だ」↑物凄く黒い笑み

数日後

士「これから門河の協力のもと、波動で占ってみようを始めるぜ！」

シンジ「どういうノリですか!？」

？「俺がバースだ」

セツナ「しかも…」

？「ここはどこだー！」

？「オト兄落ち着いて」アスカ「一人を除いて、見知らぬ人達が…」

テル「ああこいつらは今回のゲストだ」

？「嘘つけ！ネオにとどめを刺そうとした時にいきなり乱入して有無を言わず連れてきただろ！」

テル「いつまでも」？「じゃ失礼だな。今回のゲストはガタツクさんの作品「仮面ライダーダークキバ Vivid - JOKER - 聖王、霸王、帝王」からの登オトヤと妹の登ヴィヴィオそれとアインハルト・ストラトス。それと「オーズクライン」から後藤だ！」

シンヴィヴィ「いや名前をいってあげて！」

後藤「俺がバースだ」

テル「そんじゃ始めるぞ」

~~~~~

士「でもどうやって調べるんだ？」

テル「俺を誰だと思っている。こいつを作ってきたんだよ」

アインハルト「それ…なんですか？」

テル「今回使う道具の「波動チェッカー」だ！」

シンジ「ネーミングセンス皆無…」

オトヤ「もう少し、まともな名前は…」

テル「こいつに生年月日を入力すれば自動的に波動をチェックしてくれる。俺は1997年9月24日だから、血縁の問題もあり、大空だ」

アインハルト「無視みたいです」

セツナ「検索を終了した。大空の特色は調和。全ての炎を無効化することができる」

テル「大抵はボスの血縁が持つてるんだよな」

ヴィヴィオ「ってことは、テルさんは…」

ユウスケ「こつから先はネタバレだからストップ」

シンジ「僕は紫電属性と雲でしたよ」

セツナ「雲属性の特色は増殖。その名の通り、武器や物を増殖させる。孤高の浮き雲ともいわれる」

アスカ「シンジは2001年6月6日生まれだもんね」

士「まさか6月6日の午前6時6分6秒に生まれたとかないよな…」

シンジ「門矢先生、どういう意味ですか？」

士「普段は優しいのに怒ると悪魔…」

シンジ「…」

「ジョーカー」

ライジングジョーカー「門矢先生ちよつとお話が…」

オトヴィヴィアイン「「土さーん!」」

テル「どうでもいい。それと雲のやつは独立心が強くておだてられても裏があるのではないのかと疑うタイプだ。恋愛に関しては付き合う相手は慎重に選ぶけど、好きになれば粘り強くアピールしていく。一途で浮気はしない」

アスカ「シンジなんだから当たり前よ

テル「こんな感じだ。よし、オトヤ、お前の誕生日は?」

オトヤ「8月8日で13歳です」

テル「生まれた年はこの基準でいくからな。2015年だから」

ヴィヴィオ「あれ?テルさんの年齢の計算が…」

テル「だが気にするな!」

後藤「俺がバースだ」

テル「この基準でオトヤは2002年生まれだから…嵐だな」

オトヤ「嵐ですか」

テル「嵐の波動を持っている人は頭脳明晰、スポーツ万能らしい。

ただし、自己中心な所もある。恋愛に関しては熱くなりやすく冷め

やすい。憧れる人ができるとその人を一途に思う傾向がある」

オトヤ「そうなんですか…」↑アインハルト方を向きながら

アインハルト「どうしたんですか、登さん?」

オトヤ「いえ。なんでも」

アスカ「ヴィヴィオは何月何日生まれ?」

ヴィヴィオ「5月3日です」

アスカ「何歳?」

ヴィヴィオ「10歳です」

アスカ「えーと、ヴィヴィオは雷ね」

ヴィヴィオ「雷?」

アスカ「雷の波動が強い人は自分の個性を大切にすると。ただし温厚だけど怒ると手がつけられないみたい」

ヴィヴィオ「私ってそんな人なんですか？」

セツナ「いや、占いだし、当てにはできない。参考ぐらいに留めておいて。ちなみに恋愛に関しては、慎重である程度の手応えがないと行動に移さない。あと嫉妬心が強い」

ユウスケ「アインハルトさんは？」

アインハルト「私は、9月13日です」

ユウスケ「オトヤ君と同級生だからって。…なるほど、アインハルトさんは晴か」

アインハルト「晴ですか？」

ユウスケ「うん。晴の人は責任感が強く一度信頼されるとそれを裏切らないよう全力を尽くす人だって。でもマイペースで打ち解けるのには時間がかかるけど、信頼してくれる人は多いって」

アインハルト「そうなんですか。恋愛関係も分かるみたいですが…」  
ユウスケ「えーと、駆け引きが苦手な相手に振り回されやすいって、でも警戒心が強くて、相手からアタックされても簡単には乗らないみたい」

オトヤ（そうなんだ…）

テル「オトヤ気にするな。まあ、頑張れ」

オトヤ「って。今、僕の心を読みましたよね!？」

テル「気にするな」

シンジ「ただいまー。あれ？もう終わった？」

テル「いや、あと一人残ってる」

後藤「俺がバースだ」

ヴィヴィオ「後藤さんか…これしか言わないもんね」

アインハルト「どうにかできませんか？」

シンジ「…後藤さん？」

後藤「俺がバースだ。だがそれ以上に伊達さんがバースなんだ！」  
ライジングジョーカー「分かったからさっさと質問に答えろ！」

後藤「グハッ！…すまない。俺の誕生日は5月10日だ」

シンジ「5月10日つと。えーつと、後藤さんは霧ですね」

後藤「霧か…どんな人なんだ？」

シンジ「アスカも霧だからついでに説明します」

オトヤ「ゲストがついでなのか？」

テル「第一、ミスって連れて来たからな…」

ヴィヴィオ「そうなんですか？」

激情体シンジ「話ができないんですが…」

アスカ以外全員「…すいませんでした！」「」

シンジ「霧属性の人は、人から信頼されて、それに全力で答える人です。曲がったことが嫌いで自分勝手な人には憤りを覚える。ストレスが溜まりやすいみたい…」

アスカ「あたしは、あまりストレスは無いわよ」

後藤「俺もだ」

アインハルト「結構、気づかない所で溜まってると思います」

テル「ごもつとも。霧の人は恋愛では駆け引きが苦手で常に直球勝負。一旦好きになるとあの手この手を使って猛アタックをするみたいだ」

セツナ「アスカさんと後藤さんに関しては結構当たってるな。責任感が強いとか直球勝負とか…」

テル「さてついでに、セツナと雄介のイメージとそこで屍になる土。あとおまけでナツスイカもやるか」

夏海「ナツミカン…じゃない、夏海です！笑いのツボ！」

ゴキイ

テル「ぐっ…わはははははははは！…くっそ、おい…なんとかできないのか！」

ユウスケ「あーあ」

アスカ「セツナは6月25日生まれよね」

セツナ「ああ」

シンジ「セツナは雨だつて」

セツナ「雨か。炎の色が青なんだよな…」

シンジ「セツナのイメージカラーだね。雨の人は大らかな人で細かいことは気にしないタイプだつて。友達から信頼されるみたい。口には出さないけど自分の美学を持ってるつて」

アスカ「恋愛はムードに弱くて恋に恋するタイプ。愛するより愛されたいみたい」

セツナ「そうなのか…」

テル「ゼエハアゼエハア。さて写真館チームはまとめてやるぞ。土は霧、ナツマロンは晴、雄介のリイマジは嵐。面白みの無いやつらだ」

ディケイド激情体「なんだと…？」

キバーラ「夏海です。つまらないつてどういふことですか？」

RUクウガ「消すぞ？」

「ファイナルアタックライド ディ・ディ・ディ・ディケイド」

ディケイド激情体「おらあ！」

キバーラ「ハアアアアア！」

RUクウガ「ライジングアルティメットマイティキック！」

TディケイドCF「だ」

ライジングジョーカー「ま」

ダークキバ「れ！」

ヴィヴィオ「オト兄混じるなああああ！」

後藤「俺がバースだ！」

アインハルト「あーあ」

~~~~~

テル「悪いな。最後に見苦しいところを見せてしまつて」

アインハルト「いえ。結構楽しかったですよ」

ヴィヴィオ「はい。でも3人は大丈夫なんですか」

シンジ「大丈夫大丈夫。加減した…と思うから」

オトヤ「ユウスケさんはアークルがありますからね」

後藤「俺がバースだ」

セツナ「後藤さんが真面目に喋ったのは少しだったな」

テル「そろそろ、時間だな。じゃあ今回はゲストのみんなも一緒にいくぞ。せーの」

全員「「「全てを破壊し、全てを繋げ!」」」

オトヤ「それじゃあ、また」

テル「ああそうだ。これお土産」

ヴィヴィオ「なんですか?これ」

テル「リング。お前達の属性に対応したな」

アインハルト「ありがとうございます」

後藤「俺がバースだ!」

オトヤ「それじゃあ、さようなら」

ガタツクさんの作品「仮面ライダーダークキバ Vivid - JOKER - 聖王、霸王、帝王」と「オースクライン」は大好評連載中! 見てない人にはテルとシンジが消滅させに行きますよ(笑)

ファイル07

「死ぬ気と覚悟の波動占い」(後書き)

ガタツクさんありがとうございました！

キャラ等のご指摘ありましたら、お申し付けください

## ファイル08 「使徒解説全集第3回目」

テル「使徒解説全集の第3回目だ」

シンジ「今回はマトリエルからイロウルまでを紹介します」

士「ここまでくると、もう終わりに近づいてきてるんだな」

セツナ「確かに。このコーナーも終わるからなあ」

智春「連載終わっても、このスピノフは続けるみたいだね」

海東「僕には本編でもここでもフェードアウトだからね。この先の活躍を…」

TディケイドCP「黙っとけ。こそ泥」

Rジョーカー「激情体」話が進まないんですけど」

海東「Σすいませんでした！」

ハルカ「なんか凄いことになってるわね」

エンマ「テル君から聞いてたけどね」

ソウジ「ん？君達は？」

ハルカ「初めまして。光ハルカといいます」

エンマ「門矢エンマです」

ショウイチ「そうじゃなくてここにいる理由を聞いてるんだあああああああ！！」

TディケイドCF「…黙れ！」

ショウイチ「すいませんでした」

辰巳シンジ「話が進まない」

カズマ「さっさと始めようか？」

~~~~~

テル「二人の紹介は後にして、まずはマトリエルからだ！」

第9使徒 マトリエル

・雨の天使

・人間態は17歳くらいの青年

・溶解液で攻撃する

・仮面ライダーオーガに変身

シンジ「初の仮面ライダーに変身した使徒ですよね」

エンマ「000と000で似てるから？」

セツナ「いや、作者のことだから思いつきだろう」

テル「オーズのカードの覚醒話だからな」

士「あの説教って、夏目にした訳じゃないんだけだな」

ユウスケ「確かに、どっちかと言うとサンだよな」

サン「ユウスケ兄ちゃん。どうかしたの？」

ハルカ「か…」

テル「げ、やべ」

ハルカ「可愛いいいいいいい」↑サンに抱きつく

サン「ほえええええええ？」

操緒「ハルカさん、どうしたんですか!？」

テル「こいつは可愛い物好きでな。可愛い物を見るとこうなる」

和葉「今回は話の進みが遅い…」

タクミ「確かに…」

良太郎「さて、今度はサハキエルで…おおよ」↑セリフの途中で床が抜ける

全員「…なぜ抜ける!？」

第10使徒 マトリエル

・空の天使

・人間態は12〜13歳の少女

・空から自分の一部を分離させ攻撃する

・ガキエルの二倍の体長

辰巳シンジ「こいつはデカくて素早かった」  
カズマ「そうだな。キングフォームとサバイブ、エンペラーフォー  
ムもでたしね」  
ワタル「本当は、ソウジさんの片手、カブテクター展開無しと定評  
のハイパーマキシマムサイクロンを入れる予定だったようですよ」  
ソウジ「ん？」  
シヨウイチ「この使徒はなんか捨て駒みたいな扱いだよな」  
アスム「事実、捨て駒ですよ」  
ハルカ「最低ね」  
エンマ「ここの空気で入り込めるんだ…」  
テル「ハルカはそういう奴だからな」

智春「最後はイロウルです」

第11使徒 イロウル

- ・ 恐怖の天使
- ・ 人間態は16〜17歳くらいの青年
- ・ 何百体にも増殖する
- ・ 知能は使徒の中でトップクラスだが力はぶつちぎりの最下位
- ・ 増殖した自分を融合して巨大な人の形状をとる

智春「何気にオースだけで倒した使徒なんですよね」

テル「こいつに関しては予定通りらしい」

操緒「増殖する相手ならガタキリバしかないからね」

海東「僕はイリユージョンで分身出来るけど…」

エンマ「あなたに関しては基本的にフェードアウトらしいです」

海東「そ、そんな」

ユウスケ「所詮は海東だからな」

和葉「あの、使徒の解説はどこに…」

ハルカ「気にしたら負けじゃない？」

~~~~~

テル「さてと、ハルカとエンマの紹介をするか」

光ハルカ

- ・ 13歳（スピノフではテルの年齢に合わせて16歳）
- ・ 容姿はポケモンのハルカの髪をショートにした感じ
- ・ 身長150cm 体重：

ハルカ「言わないで！」

- ・ 活発な性格
- ・ テルに好意を寄せている

テル「ハルカは親同社が親友だったせいでなし崩し的に幼なじみなんだ」

ハルカ「なし崩し的っていうのが引かかるんだけど」

テル「正直いって、俺の頭痛の原因。両親よりはマシだがな」

シンジ「なんでですか？」

テル「マイペースなんだよ。俺の親は。正直、あのマイペース夫婦と親友になれるハルカの親が凄い」

セツナ「凄い言いようだな」

エンマ「僕もやっていい？」

テル「悪い悪い、エンマ。じゃあエンマの紹介だ」

門矢エンマ

- ・ 13歳（スピノフでは16歳）
- ・ 容姿はREBORN!の古里エンマの髪を茶色目の色を黒に変えた感じ
- ・ テルの親友

- ・ いじめられっ子で勉強とスポーツがダメでテルの対極を為す存在
- ・ 常識人で他のみんなにツッコミを入れることが出来る存在
- ・ 身長162cm 体重49kg

アスカ「疑問なのは何で対極の二人が仲良くなれたの？」

エンマ「何でだろ？」

テル「さあ？いつの間にか仲良くなってたからな……。ああ思い出した。確か不良にエンマがイジメ……というかリンチを受けてる時に助けたんだっけ」

エンマ「そうそう、それで破けた制服を縫おうとしたら変な所縫っちゃって」

ハルカ「それをテルが直したのよね」

シンジ「それでもおかしい。対極の二人ってどこかでわかだまりが生まれるはず」

エンマ「なかったよね」

テル「ああ。逆に俺がエンマに勉強を教えて、エンマが周りの頭痛の原因にツッコミを入れるっていう、関係ができたし」

ハルカ「うんうん。やつちゃんやケンタとも仲良くなったしね」

セツナ「その二人は？」

テル「今日は呼んで無い」

智春「テルさんが主人公の作品ですよね」

テル「ああ。そうだ二つの作品だと年齢と身長が違うんだよな」

門河テル

年齢… REBORN！13歳↓DCDリイマジ16歳、管理者の世界18歳

身長… REBORN！172cm↓DCDリイマジ180cm、管理者の世界185cm

体重… REBORN！54kg↓DCDリイマジ57kg、管理者の世界59kg

テル「こんな感じ」

エンマ「Σテル君細過ぎ！」

ハルカ「うらやましいわよ」

アスカ「ハルカも十分細いわよ」

シンジ「でも180cm代で57〜59kgはありえない…」

セツナ「もう少し太ったほうがいいんじゃない…」

テル「太ろうにも太れないんだよ」

ハルカ「いくら食べても太らない体質なのよ」

女性陣「「うらやましい」「」」

士「ん？今思ってたんだが、エンマの名字って門矢だよな」

エンマ「そうですけど…」

士「俺も門矢なんだが…」

リイマジ全員「「そっいえばそうだ」「」」

エンマ「ご先祖様なんですかね？」

ソウジ「さあな」

~~~~~

テル「さてと終わりにするか」

士「その前にあの二人はなんなんだ？」

テル「作者の新しい作品「家庭教師ヒットマンREBORN！」時と破壊の継承者」にでるキャラだ」

ハルカ「今思うとテルってどの作品にもでてるわね」

エンマ「そっいえば、DCDリイマジでもこのスピンオフでもでてるし、今度のやつでは主人公だもんね」

テル「そっいえばな。結構オリキャラ優遇だな」

士「だなあ」

テル「さてと終わり！みんなでせーの」

全員「「全てを破壊し、全てを繋げ！」「」」

## ファイル09 「オリジナルフォームの強さって…チートじゃね？」

Rジョーカー「ライジングライダーズラッシュ！」

海東「ぐわああああ」↑直撃

シンジ「ふう」

テル「いきなり、何があっただ？」

セツナ「それが、ダブルドライバーのメモリーメモリを盗もうとして、ダブルドライバーを持っていこうとしたんだ」

士「大体分かった。今回は海東が悪い」

智春「そういえば、DCDリイマジにでる、オリジナルのフォームって、チート揃いですよね」

アスカ「ライジングジョーカーに、サイクロンアクセルライジングエクストリームに」

操緒「アスラプトティラコンボ」

テル「それじゃあ、ネタバレにならないように気をつけながら、纏めるか」

~~~~~

テル「オリジナルライダーもいたよな」

碇シンジ「アダムとリリスだよ」

惣流アスカ「忘れてもらったら困るわよ」

テル「残念ながら、二人は特別な能力はない。アダムはディケイド、リリスはディエンドと同じくらいのスペックだ」

セツナ「そんな程度なのか？」

テル「ただし、本編かNOVEL大戦で補正が入るはず」

碇シンジ「そうなんだ…」

シンジ「元気出して」

辰巳シンジ「そうそう」

士「ややこしい！」

アダム「ほう？」

Rジョーカー「ややこしいと」

龍騎SV「少し「お話」が必要か？」

士「しまっ…！」

ワタル「ご臨終です」

テル「士はほっとけ」

エンマ「だね」

ハルカ「じゃあまずは、ライジングジョーカーね」

仮面ライダーライジングジョーカー

・ジョーカーの強化形態

・シンジの持つ紫電属性の炎と切り札の記憶の同調により変身する

・基本スペックはWCJと同じくらい

・碓家の家宝「紫電」をつかう

・必殺技は「ライジングライダースラッシュ」

シンジ「これは、ナルコさんが僕らを殺そうとしたときに変身したんですよね」

セツナ「そういえば、サハクィエルの時も」

ソウジ「そうだな。シンジ君が足止めしてくれて助かった」

エンマ「でもさ、Rジョーカーって強いよね」

智春「時空切断や重力操作。神を倒さないだけマシだよ」

操緒「問題は次ね」

セツナ「憎しみのWか…」

テル「現在進行形だがいってみよう」

仮面ライダーWサイクロンアクセルライジングエクストリーム

- ・ボディサイドの意志のみで変身可能
- ・スペックはゴールドエクストリーム×2くらい
- ・ロンギヌスの槍を装備
- ・ロンギヌスの槍による時空操作ができる
- ・エヴァンゲリオンのメモリが新規で追加されている
- ・必殺技はCJX及びRジョーカーと同じものと、「ビッカーライジングファイナエクスプロージョン」など
- ・飛行が可能

シンジ「最後いららないと思う」

セツナ「それを言うな。シン」

テル「CARXは連載を始めて、エヴァの新劇場版と旧劇場版を見て思いついたらしい」

アスカ「エヴァ要素凄いもんね」

カズマ「ロンギヌスの槍持つてる時点でチートじゃね？」

タクミ「絶対不可侵入領域と言われるA・T・フィールドを貫くからね」

辰巳シンジ「エヴァンゲリオンって福音っていう意味だっさ」

テル「福音か…果たしてこの力は福音となるか災いとなるか…」

ハルカ「次いつてみよう！」

エンマ「少しは自重してよ…」

仮面ライダーオースアスラプトティラコンボ

・オースブレスレットに黒鐵と白銀のメダルをセットすることで変身

・プトティラによる暴走がない

・漆黒のロンギヌスの槍を装備

智春「あれ？これだけ」

操緒「ネタバレに注意して。って言ってたよ」

和葉「登場したばっかだからね」

シヨウイチ「これだけでも十分だろ…」

ソウジ「色違いのロングヌスの槍があるからな」

~~~~~

テル「まとめてみたけど、どうだった？」

アスム「Wとオーズが優遇されてますね」

ワタル「響鬼の最強フォームだけまだでてない」

アスム「そうなんですよ」

モモタロス「俺達もだ！」

テル「響鬼は出す暇がなかった。電王はさんざん映画にでたんだ、我慢しろ」

タクミ「うんうん」↑映画にでれなかった

エンマ「テル君そろそろ時間」

テル「OK。じゃあ今回はこれで締めるぞ。せーの！」

全員「これで決まりだ！」

## ファイル10

### 「まさかまさかのポケモン勝負！」

シンジ「今回のスピノフは世界を越えて、ここポケモンの世界からお送りします」

セツナ「ポケモン、かわいいのもいればカッコいいのもいる、興味深い…」

テル「さてと、お前ら、さつさとポケモン選べよう！」

士「お前は選んだのか？」

テル「俺はポケモンの世界に預けてるのがいるからな」

サンダース「ダース！」

ジュカイン「ジュカ！」

カメックス「カメ！」

アスカ「凄い面子ね…」

テル「本当は、ミュウがいるんだけど、今日はいないからな…」

ユウスケ「ミュウって！？それ幻のポケモンだろ！？」

テル「捕まえたんじゃないんだけど、手伝ってくれるんだ」

海東「さて僕はこの世界のお宝でも…」

テル「サンダース、かみなり」

サンダース「ダース！」

海東「ぎゃあああああ！！」 ↑ 直撃

士「この前も最初にやられたよな…」

~~~~~

テル「一応、ポケモンは全部そろってるからな」

シンジ「僕はこの三匹で」

テル「なんか凄いの選んだな」

シンジ「チョイス」

ドラピオン（クロスポイズン・かみくたく・こおりのきば・シザー  
クロス）

レントラー（ほうでん・かみくたく・かみなりのきば・めざめるパ  
ワー）

シャワーズ（ハイドロポンプ・アクアリング・シャドーボール・と  
ける）

シンジ「よろしくね」

テル「俺の手持ちも紹介するか」

テルの手持ち

サンダース（ほうでん・かみなり・シャドーボール・こうそくいど  
う）

ジユカイン（リーフブレード・つばめがえし・じしん・かみなりパ  
ンチ）

カメックス（なみのり・ラスターカノン・れいとうビーム・じしん）

士「電気タイプキラーだな」

テル「弱点考えたからな。大抵のポケモンなら対抗できるぞ」

アスカ「あたしはこの三匹よ」

セツナ「俺はこれだな」

テル「またなんか面倒なチヨイスを…」

アスカチヨイス

チラチーノ（スリープビンタ・メロメロ・とっておき・くすぐる）

ウェンディ（かえんほうしゃ・つばめがえし・はかいこうせん・し  
んそく）

エモンガ（10まんボルト・アクロバット・ボルトチェンジ・こう  
そくいどう）

セツナチヨイス

メタグロス（コメットパンチ・しねんのずつき・じしん・たいばくはつ）

キングドラ（ハイドロポンプ・りゅうのはどう・りゅうのまい・れいとうビーム）

グレイシア（れいとうビーム・ふぶき・シャドーボール・ねむる）

シンジ「メタグロス、だいはくはつ覚えてるの!？」

セツナ「みたいだな」

アスカ「あたしはどうなのよ、シンジ」

シンジ「アスカらしいよ」

アスカ「ありがと」

RUKUUGA「いいがげんにせいや」

テル「…カメックス、あのギザギザにラスターカノン」

カメックス「カメー!」

RUKUUGA「ぐわあああああ!」

エンマ「どんだけ、とくこうにふってるんだろ…」

ハルカ「テルのは結構チート多いわよね。ミュウがいなくてまじじゃない」

テル「個人的にはミュウにあいたかったんだけどな」

海東「僕はつと…」↑復活

テル「こそ泥、お前はレパルダス、グラエナ、ヨノワールだ」

海東「なんでどろぼうを覚えるのなんだい？」

テル「こそ泥だからだ。それとグラエナは俺の手持ちじゃなくて別のやつな」

エンマ「あともやしさんは三匹ともメタモン固定なんで」

士「なんでだ!」

ハルカ「ディケイドだからでしょ」

士「なら門河はどうなる!」

テル「俺はこの世界を通ってるからいいんだよ」

全員「…なんちゅう理不尽な…」

テル「そんじゃあ、エンマとハルカはいつものでいいな」  
エンマ「OK。というより…」  
ハルカ「それしかないっしょ！」

エンマ手持ち

ラグラージ（なみのり・じしん・れいとうビーム・アームハンマー）  
ドダイトス（リーフストーム・じしん・かみくだく・ハードプラン  
ト）

バクーダ（ふんか・じしん・のしかかり・ねむる）

ハルカ手持ち

バシャーモ（ブレイズキック・スカイアッパー・ビルドアップ・つ  
ばめがえし）

ギャラドス（たきのぼり・じしん・かみなり・アクアテール）

ゼブライカ（ほうでん・ニトロチャージ・でんこうせっか・ふみつ  
け）

海東チヨイス（テルが決定）

レパルダス（つじぎり・ねこだまし・だましうち・かげぶんしん）  
グラエナ（かみくだく・どろぼう・かいりき・シャドーボール）  
ヨノワール（シャドーボール・どろぼう・ふういん・れいとうビー  
ム）

士チヨイス（エンマが決定）

メタモン（へんしん）×3

テル「そんな訳で、このポケモン達で次回バトルをするぜ！」

エンマ「今回じゃないんだ…」

ラグラージ「ラグラ…」

ハルカ「作者の都合よ」

バシャーモ「バsshャ！」

士「なら変えてもいいだろう」

海東「そうだよ」

テル「文句あんのか？」↑破壊神オーラ  
士海東「Σいえ！何も！」  
シンジ「それじゃあ、次回に続く」

## ファイル10 「まさかまさかのポケモン勝負！」（後書き）

次回にポケモンバトル+コラボの予定

## ファイル11 「ポケモンバトル！」

テル「さてと、ポケモンバトルを始める前に審判と実況と解説が必要だからな。今回は二人の作者さんからゲストを迎えてお送りするぞ」

エンマ「まず審判はユウスケさんをお願いします。そして実況、解説はツカサさんの作品「リリカルキュアライダー学園」より、花咲つばみさんと来海えりかさん。それとシプレとコフレに任せます」

つばみ「よろしくお願いします」

えりか「よろしく！」

シプレコフレ「よろしくですう！」

シンジ「Σいつの間に呼んでたの！」

ハルカ「それと、参加者としてユートピアさんの作品「IS＜インフィニット・ストラトス＞黒き牙と永遠の月」から音梨楓さんと黒谷終さんがきてるわ」

楓「よろしくお願いします」

終「よろしくな！」

セツナ「この二人のチョイスはこの三匹だ」

終チョイス

グラードン（だいもんじ・ねむる・じわれ・ソーラービーム）

カイオーガ（ハイドロポンプ・ねむる・ぜったいれいど・すてみタックル）

レックウザ（そらをとぶ・ねむる・しんそく・げきりん）

楓チョイス

ラティオス（まもる・リフレッシュ・ラスターパージ・サイコキネシス）

ラティアス（みずあそび・リフレッシュ・ミストボール・サイコキネシス）

ジラーチ（すてみタツクル・みらいよち・コスモパワー・はめつのねがい）

士「どちらも伝説、幻、超古代じゃねえか！」

海東「士は有利じゃないか。メタモンなんて」

テル「ミユウがいればな」

ハルカ「始めましょうよ。対戦相手は決まってるんだから」

~~~~~

第一試合 シンジ vs 海東

ユウスケ「それじゃあ第一試合を始めるよ」

シンジ「お願いします」

海東「手加減しないからね」

つぼみ「さあ始まりました、ポケモンバトル！実況は私、花咲つぼみ」

えりか「解説はあたし来海えりかでお送りするよ！」

つぼみ「えりか、この試合はどうおもいますか？」

えりか「タイプの相性では碇君の方が有利だね」

テル「あ、言い忘れてたけど、あのドラピオンは3Vだから」

全員「「え……？」」「」

ユウスケ「始め！」

シンジ「よろしく、ドラピオン！」

海東「頼んだよ。レパルダス」

つぼみ「さあ、両者ポケモンを繰り出した！」

海東「レパルダス、かげぶんしん」

レパルダス「レパー！」

つぼみ「さあレパルダスはかげぶんしんを使った！」

シンジ「……………ドラピオン、あの真ん中のレパルダスにシザークロ  
ス」

ドラピオン「ドラー！」

つぼみ「さあドラピオンはシザークロスを使ったあ！」

レパルダス「レパー！」

つぼみ「当たった！効果はバツグンだああ！」

えりか「凄い。本物を見切った攻撃だね」

ユウスケ「レパルダス！戦闘不能！」

海東「いけ！グラエナ！」

グラエナ「グラー！」

海東「シャドーボール！」

グラエナ「グーラー！」

シンジ「ドラピオン！よけてから接近してシザークロス！」

つぼみ「ああと！ドラピオンシャドーボールを難なくよけ、さらにシザークロスを使った」

ドラピオン「ドラー！」

えりか「効果はバツグンだね」

海東「そんな……。くつならヨノワール！」

ヨノワール「ヨノワール！」

シンジ「面倒だし、終わりにする。ドラピオン、クロスポイズン！」  
ドラピオン「ドラー！」

つぼみ「決めました！クロスポイズン！さらにきゆうしよに当たったああ！」

えりか「ドラピオンの特性はスナイパー。きゆうしよに当たると二倍のダメージをあたえられるね」

ユウスケ「ヨノワール、戦闘不能！よって勝者、碇シンジ！」

アスカ「流石シンジね」

終「なあテル、お前あのドラピオン3Vって言ってたが、どんだけ攻撃にふったんだ？」

テル「元々、攻撃、素早さ、HPが高かったからな」

楓「それでも強いですよ」

ハルカ「楓、いいこと教えてあげる。あの泥棒に渡したのはテルの



カイオーガ「カーイオー！」

DキバBF「カイオーガ呼ぶのには苦勞するんだぞ……」

つぼみ「DキバBFにアクアフィールドからカイオーガが出現！」

えりか「カイオーガの特性で雨が降り出したね」

終「カイオーガ！すてみタツクル！」

カイオーガ「カーイオー！」

セツナ「キングドラ！りゅうのまい」

キングドラ「ドラァー！」

えりか「りゅうのまいでキングドラは素早さを上げる！」

カイオーガ「カーイオー！」

キングドラ「ドラァー！」

セツナ「キングドラ！りゅうのはどう！」

キングドラ「ドラァー！」

つぼみ「さあカイオーガのすてみタツクルとキングドラのりゅうのはどうがぶつかり合う！」

ドカアアアアアアン！！

カイオーガ「カーイオー……」

キングドラ「ドラァー……」

ユウスケ「カイオーガ、キングドラ。共に戦闘不能！」

えりか「最後の一匹に勝負は委ねられたね」

セツナ「グレイシア！」

グレイシア「レーイ！」

終「グラードン！」

グラードン「グラァー！」

えりか「今度は日差しが強くなってきた」

テル「ほい、日焼け止めと日傘」↑女性陣に配る

セツナ「グレイシア！れいとうビーム！」

終「グラードン！だいもんじ！」

グレイシア「レーイ！」

グラードン「グラァー！」

えりか「これは勝負は見えだね」

セツナ「グレイシア！」

グレイシア「レーイ！」

つぼみ「これは痛い一撃！グレイシアにだいもんじは効果バツグンだー！」

ユウスケ「グレイシア、戦闘不能！よって勝者、黒谷終！」  
終「よっしゃあ！」

テル「みんなお疲れ様。帰っていいよ」↑超古代ポケモンの皆様を帰した

ハルカ「ホントにテルって何者？」

エンマ「次は…えー、僕と楓さんだって」

楓「そうですか。よろしくお願いします。エンマさん」

第三試合 エンマvs楓

エンマ「ラグラージ！GO！」

ラグラージ「ラグラー！」

楓「お願いします。ラティオス」

ラティオス「ティオー！」

ユウスケ「試合開始！」

エンマ「ラグラージ！れいとうビーム！」

ラグラージ「ラグラー！」

楓「えっと。ラティオス！まもるです！」

ラティオス「ラティオー！」

つぼみ「弱点であるこおりタイプの技をまもるで防ぎました！」

楓「ラティオス！ラスターパージです！」

ラティオス「ラーティオー！」

ラグラージ「ラグラー！」

エンマ「つく。ラグラージ！れいとうビーム！」

ラグラージ「ラグラー！」

ラティオス「ラティー！？」

えりか「ラスターパージで特攻が下がったがそれでも威力はそこそこにあつた！」

ユウスケ「ラティオス！戦闘不能！」

楓「ありがとうございます。ラティオス」

終（大丈夫かなあ…）

楓「ラティオス！お願いします！」

ラティオス「ティアー！」

エンマ「ラグラージ、れいとうビーム」

ラグラージ「ラグラー！」

ラティオス「ティアー！」

ユウスケ「ラティオス、戦闘不能」

全員「「ナニヤツテンダアンタ」「」

終「マズいな…」

テル「いや、もう手遅れだ」

椀「よくもやってくれたわね」

テル終「「やっぱり！」」

椀「ジラーチ！」

ジラーチ「ジラー！」

えりか「千年の眠りから目覚めてたの！？」

テル「みたいだなあ」

椀「ジラーチ、はめつのねがい。その後、すてみタツクル！」

ジラーチ「ジラー！」

エンマ「ラグラージ！じしん！！」

ラグラージ「ラグラー！」

つぼみ「ああと！ラグラージのじしんはジラーチに効果バツグンだ！」

ユウスケ「ジラーチ、戦闘不能！」

ラグラージ「ラグラー！？」

テル「はめつのねがい。ラグラージも戦闘不能。だが勝者はエンマ」

椀「くそつ。あんなやつに負けるなんて…」

ハルカ「次、あたしともやしさん」

士「なんだと…」

テル「もやし、場合によっては、俺の相手になるぞ」↑黒い笑みを浮かべる

第四試合 ハルカvs士

ハルカ「バシャーモ！テイクオフ！」

バシャーモ「バシャー！」

士「メタモン！」

メタモン「メター」

ユウスケ「試合開始！」

終「これはもう、結果は分かりきってるな」

ハルカ「バシャーモ！つばめがえし！」

士「メタモン！へんしん！」

つばみ「メタモンはバシャーモにへんしんしたが…」

シプレ「意味ないと思いますう」

えりか「シプレの言うとうり！へんしんするとタイプも変わるから

つばめがえしは効果バツグンだよ」

コフレ「絶対、この後も同じ展開ですう」

ユウスケ「メタモン、戦闘不能！」

以下省略

ユウスケ「メタモン、戦闘不能！よって勝者、光ハルカ！」

テル「もやしも学習しろよ…」

ハルカ「最終試合はテルとアスカ…？」

テル「マジかよ…」

最終試合 テルvsアスカ

テル「はあ。サンダース、レディーゴー！」

サンダース「ダース！」

アスカ「チラチーノ！」  
チラチーノ「チラー」  
ユウスケ「始め！って、え…？」  
テル「サンダース、かみなり」  
サンダース「ダース！」  
チラチーノ「チラー！」  
ユウスケ「チラチーノ、戦闘不能！」  
アスカ「ウエンディ！」  
ウエンディ「ウエン！」  
テル「交代。カメックス。なみのり」  
カメックス「カメー！」  
ウエンディ「ウエン！？」  
ユウスケ「ウエンディ、戦闘不能！」  
アスカ「エモンガ！」  
エモンガ「エモー！」  
テル「カメックス、れいとうビーム」  
カメックス「カメー！」  
エモンガ「エモー！？」  
ユウスケ「エモンガ、戦闘不能。よって勝者、門河テル！」  
つぼみ「実況が入れられなかった」  
えりか「あつという間だったね」  
シプレ「圧倒的ですう」  
コフレ「そうですう」  
エンマ「容赦ないなあ」  
楓「流石に酷過ぎですよ」  
ハルカ「相変わらずよね。そういうところ」  
テル「戦いに躊躇なんていない」  
シンジ「テルさん？」 ↑ 超絶神オーラ  
セツナ「Σげっ！シンが切れた！」  
テル「なんだ？」 ↑ 破壊神オーラ

ハルカ「Σ對抗しないで！」

士「それじゃあ、お前からで試合するか…？」

終「既に殺る気満々だぜ？二人とも」

ミュウ「ミュウミュー！」

エンマ「Σあつ！ミュウがきた」

テル「サンダースをミュウにチェンジする」

シンジ「お好きにどうぞ」

真・最終試合 破壊神テルvs激情体シンジ

つぼみ「さあ、試合場の空気は張り詰めています」

えりか「ポケモンバトル程度で…」

テルシン「あ？」

えりか「ごめん。ごめんなさい。すいません。申し訳ございません。命だけは…」

シプコフ「怖いですう」

ユウスケ「死合開始！」

エンマ「Σ字が違いますよ！！」

シンジ「ドラピオン！」

ドラピオン「ドラー！」

テル「サルムソ！」

サルムソ「ジーカー！」

終「サルムソって…」

ハルカ「見ての通り、ジユカインのニツクネーム」

シンジ「ドラピオン！クロスポイズン！」

つぼみ「ドラピオンのクロスポイズン！だが、ジユカインはよけた！」

テル「かみなりパンチ！」

つぼみ「ジユカインはかみなりパンチで攻撃する！」

シンジ「ドラピオン！よけてからこおりのきば！」

ドラピオン「ドラー！」

テル「サルムソ！よけてつばめがえしからのじしん！」  
サルムソ「ジューカー！」  
つぼみ「ジユカインはこおりのきばを回避し、さらにつばめがえし！さらにじしんを仕掛けた！」  
えりか「じめんタイプの技だから、効果はバツグンだね」  
シンジ「まだまだあ！」  
ドラピオン「ドロー！」  
つぼみ「じしんがドラピオンに決まる！だがドラピオンはシザーク  
ロスをジユカインに放つ！どうおもいますか？えりか」  
えりか「私に質問するな」  
つぼみ「…あ？」↑究極神オーラ  
えりか「Σごめんなさい！」  
ユウスケ「えーっと。ドラピオン戦闘不能！」  
シンジ「お疲れ。レントラー！」  
レントラー「レントー！」  
シンジ「めざめるパワー！」  
レントラー「レーン…トー！」  
つぼみ「レントラーのめざめるパワー！効果は…」  
サルムソ「ジューカー！」  
えりか「バツグンだー！」  
テル「ちい。サルムソ！リーフブレード！」  
サルムソ「ジューカー！」  
つぼみ「リーフブレード！これはダメージをくらっている！」  
シンジ「いまだ！かみくだく！」  
レントラー「レントツ！」  
ユウスケ「ジユカ…サルムソ、戦闘不能」  
テル「カメックス！」  
カメックス「カメー！」  
シンジ「レントラー！ほうでん！」  
レントラー「レーントー！」

つぼみ「レントラーのほうでん！効果はバツグンだー！」

テル「甘い！かき氷にイチゴシロップをかけたあと、れんにゅうとはちみつと角砂糖を入れるよりも甘い！」

エンマ「Σ糖尿病確定！？」

えりか「なんと、カメックスがたえきつた！？」

テル「カメックスの持ち物はきあいのタスキ。そして防御と特防は2Vで500超え！」

エンマ「ただし、レントラーも特攻500超えだよ。2Vだし」

テル「カメックス！じしん！」

カメックス「カーメー！」

シンジ「レントラー！もう一度ほうでん！」

レントラー「レントー！」

ドガアアアアアアン！！

ユウスケ「両者、戦闘不能！」

楓「どんどん凄いことに…」

ハルカ「もう諦めた」

テル「ミュウ！」

シンジ「シャワーズ！」

ミュウ「ミュウミュー！」

シャワーズ「シャワー！」

テル「サイコネシス！」

シンジ「ハイドロポンプ！」

ミュウ「ミュウー！」

シャワーズ「シャワー！」

つぼみ「二つの技がぶつかり合う！」

終「ミュウって普通に考えてもシャワーズに勝てるよな…」

ハルカ「あのミュウは6Vよ」

全員「シンテルエン」「マジ！？」「」

ズドオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ！！

ユウスケ「えーっと。あ！シャワーズ、戦闘不能！ミュウの勝ち！

よって勝者、門河テル！」

~~~~~

シンジ「負けた…」

テル「だがいせんいつてたぜ」

ハルカ「うんうん」

終「楽しかったぜ。テル」

テル「ああ。終も楓も元気だな」

楓「また会えるといいですね」

エンマ「つばみさん、えりかさん、シプレ、コフレ、ありがとね」

つばみ「いえいえ」

えりか「どういたしまして」

アスカ「そうだ！二人共、あたしの親友がプリキュアの大ファンなの。サイン貰っていい？」

つばみ「私ので良ければ」

えりか「いいよ！」

アスカ「シプレとコフレも」

シプレ「はいですう！」

コフレ「ですう！」

テル「それじゃあ、帰る準備は終わったな？」

ゲストの皆様「「大丈夫！<sup>です</sup>」」

テル「それじゃあな」↑オーロラで送り返した

エンマ「それじゃあ。これでおしまい」

テル「せーの！」

全員「「「全てを破壊し、全てを繋げ！」」」

ツカサさんの作品「リリカルキュアライダー学園」とユートピアさんの作品「IS＜インフィニット・ストラトス＞黒き牙と永遠の月

「は大好評連載中！  
見ていない人はテルとシンジが爆発させにいきますよ（笑）」

ファイル11 「ポケモンバトル！」（後書き）

ツカサさん。ユートピアさん。ありがとうございました。キャラ等に何かありましたら何なりとお申し付けください



- ・人間態はセミロングの黒い髪に白いメッシュ。瞳の色は真紅
- ・虚数空間といわれるディラックの海（分かり易くいうとシュバルツシルドの闇）
- ・内部に機巧魔神白銀を内包
- ・サンと同様に捨てられた使徒
- ・シンジとアスカを親と認識する

テル「考えてみると仲間になってる使徒は何かしら、面白い能力を持ってるよな」

エンマ「マグマへの潜水能力やディラックの海か…」

智春「個人的な疑問として、何で機巧魔神が内包されているんですか？」

シンジ「作者から。それは追々、説明するって」

セツナ「今思った。リレルとアスカさんって何か似てる」

操緒「端から見れば、家族だもんね」

リレル「そう？」

サン「うん！」

アスカ「そうかしらねえ？」

ユウスケ「リア充爆発」

シンジ「その前にあんたを爆発させましょうか？」 ↑既に戦闘体制

& amp; 超絶神オーラ

ユウスケ「Σすいませんでした！！」

海東「名字は違えど、龍神様は龍神様か…」

「ファイナルベント」

「ジョーカー！マキシマムドライブ！」

龍騎SV「はあああああああ！！」

Rジョーカー「ライジングライダースラッシュ！」

海東「ぎゃあああああああああ！！」

アスム「ししょおおおおお！！」

テル「さてと、こそ泥は後で個人的にお話することにするか」

エンマ「次はバルディエルだよ」

第13使徒 バルディエル

- ・ 覇の天使
- ・ 人間態は未登場
- ・ 別のライダーに寄生して操る
- ・ G3とG4を奪う

シンジ「こいつだけは絶対に許さない…！」

セツナ「あの悪夢の再来はやめてくれよ」

アスカ「ここで話が急展開になったわよね」

カヲル「僕の登場だからねえ。個人的にはエヴァ本編と同じ登場の仕方がよかったよ」

ソウジ「あの状況じゃ無理じゃないか？」

カヲル「それもそうだねえ」

シヨウイチ「このフリーダムコンビが！」

智春「何気に白銀や最強フォームのFFRもでしたね」

操緒「白銀ってさアスカが演操者なのかな？」  
ハンドラー

アスカ「設定ではそうなってる」

和葉「設定って言葉は基本使っちゃいけないよね」

アंक「だが気にするな！」

映司「アंक！お前の出番はもう少し後だ！」

シンジ「舞台裏で特性アイスでも食べてください」

映司「ごめんね。シンジ君」↑アंकを引きずり退場

エンマ「よかったのかなあ」

士「次はゼルエルだ」↑復活

第14使徒 ゼルエル

- ・ 力の天使
- ・ 人間態は気弱そうな少年

- ・強力な光線や伸縮自在の鋭利な腕が武器
- ・体は固く並大抵の攻撃では傷一つつかない
- ・黒コアとメモリーメモリを取り込んだことによりさらに戦闘能力がアップ

・最強の使徒

士「こいつは厄介だった」

ユウスケ「フォームチェンジの暇さえ与えてくれなかったもんな」

ワタル「しかも固い」

アスム「響鬼やキバドツガでもかなわないんですからね」

辰巳シンジ「正直いって、シンジ君がきたから勝てたようなもの」

カズマ「だよな！」

タクミ「スピードアップでの手数で勝負しても」

ソウジ「傷一つつかなかったもんなあ」

シヨウイチ「今思うが、ゼルエルが黒コアとメモリーメモリを取り込んでなかったらどうなってたんだ？」

全員「……あ……！」

テル「それでも苦戦しただろう。最強フォームフルボッコで勝てただろうけど」

エンマ「後は現在進行形でタブリス戦？」

ハルカ「これ以上はネタバレになるから終わり！」

~~~~~

・NOVEL大戦解説のようなもの

テル「作者曰わく、Wとオーズの誕生に関しての補完、エヴァ及びアスラクキャラの救済が目的だったらしい」

エンマ「本来なら本編のはずが話の展開上できなくなったからねえ」  
シンジ「そうだったんですか!？」

セツナ「うわー。台無しだな」

アスカ「思いつきで始めて長続きしない作者だからね」

智春「このスピノフも書きかけで削除した話がいくつあることか」  
ハルカ「それとサキエルが第3使徒という矛盾を無くす為でもあつたらしいわ」

操緒「あれ？アダムは？」

セツナ「ビギンズナイトででたサイガの装着者」

和葉「使徒は人外判定だもんね」

朱涅「和葉ちゃん。それはネタバレに近いわよ」

智春「朱涅さん！？」

アंक「やつと出番か！」

操緒「アंक！？」

映司「なんで俺も？」

テル「お前がオーズだからだ」

伊達「おつ火野か！？」

映司「伊達さん！？どうしてここに！？」

伊達「いやぁ。いろいろあつてね」

ハルカ「話が脱線してる」

セツナ「検索終了。アダムとリリスのデータだ」

## 第1使徒 アダム

・最初の人

・戦闘能力は無し（ただし人間よりは強い）

・仮面ライダーサイガとして暗躍

・セツナを連れ去ったのもこいつ

## 第2使徒 リリス

・アダムの最初の妻とされている

・コアメダルを取り込むことで戦闘能力を得る

・ジオフロントで眠っていた

アスカ「あれ？アダムの妻はイヴじゃないの？」

テル「まあな。実際リリースがアダムの妻だという記述は中世になったからだ。本来は悪魔なんだ」

セツナ「なる程な…」

映司「さてと、それじゃあ個々のほうにいくけどいいかな？」

テル「いいぜ」

操緒「そういえば、誰かを守りたいっていう欲望とかいってたけど」

映司「そう！それがオーズの適合条件なんだ！」

智春「え？たしか人によつて適合するメダルが違ふんじゃ…」

テル「それは細かい条件だ。それに誰かを守りたいという欲望でオーズに変身するんだ」

アスカ「Wは？」

シンジ「信頼関係のある二人で年上がジョーカー」

テル「ちなみに、デイケイドはその世界にとって何らかの異端であること。が適合条件だ」

エンマ「それじゃあ、次のスピノフはライダーの適合でいいかな？」

XX「それでいくか！！」

テル「くんな！馬鹿作者！！」

## ファイル12 「使徒解説全集第4回目」(後書き)

### 次回予告

テル「それじゃあまず適合条件からな」

エンマ「すでにこれである程度の予測がついた」

ハルカ「アークルとオルタリング持ってきたわよ」

シヨウイチ& amp ;ユウスケ「なんだって!?!」

シンジ「変身!」

セツナ「シンの適合多いな」

辰巳シンジ「変身!」

海東「同じ名前でも適合の数は…」

次回!

ファイル14 「さあ、お前の適合数を数えろ!」

### ファイル13 「さあ、適合数を数えろ！」

テル「てなわけで予告通り適合をやるぞ」

エンマ「クウガとアギトは出来ないんじゃない？」

ハルカ「アークルとオルタリング持つてきたわよ」

ユウスケ& amp; ショウイチ「なんだって!？」

エンマ「一体どこから…」

シンジ「大体分かった。リツコさんだな」

士「始めようぜ」

~~~~~

テル「それじゃあ適合条件だ」

エンマ「これで大体分かるんだけど…」

クウガ↓笑顔を守りたいという心

アギト↓魔力をもっている。神ひ近しい存在

龍騎↓制限無し

ファイズ↓死人或いはそれに近しい存在もしくは人外

ブレイド↓カテゴリーAに呑み込まれない心。融合係数

響鬼↓鍛えている者。戦闘経験の長い者

カブト↓ゼクターの認めた者

電王↓なんらかの異端であること。イマジンと変身者の合意

キバ↓人外であること

ディケイド↓その世界にとって何らかの異端であること

W↓信頼関係のある者。年上がジョーカー

オーズ↓誰かを守りたいという欲望。各コアメダルとの適合

テル「ざっとこんな感じだ」

シンジ「とりあえず、龍騎はみんな変身可能なんですね」

セツナ「一寸待ってくれ。異端と人外は紙一重だぞ？」

タクミ「電王の適合条件っておかしい。僕は本編で合意無しで変身しましたよ」

エンマ「ディケイドの影響？」

士「それは…無いとは言いつれないか」

テル「この条件ならリイマジは…」

ユウスケ↓龍騎、ファイズ、ブレイド、キバ、ディケイド、オーズ  
ユウスケ「Σファイズとキバって!？」

海東「アークルだね。後君は最終回で死んでいるじゃないか」

ユウスケ「…変身」

RUクウガ「海東、ちょっと来い」↑海東引きずって退場

ソウジ「ショウイチならどうだ？」

ワタル「こんな感じでしよう」

ショウイチ↓龍騎、ブレイド、響鬼、カブト、ディケイド、Wジョ

ーカー、オーズ

ショウイチ「Wは誰とだああああ!!」

ワタル「え…!ソウジさんに決まってるじゃないですか!!」

アスム「そうですよ。何時も仲がいいじゃないですか」

ショウイチ「納得いかわああああ!!」

辰巳シンジ「うるさい」↑破壊龍神オーラ

ショウイチ「Σごめんなさい!」

士「そんなシンジは…」

辰巳シンジ↓ブレイド、カブト、電王、ディケイド、Wサイクロン、  
オーズ

士「だな」

辰巳シンジ「Wはいい。電王は何故だ!」

カズマ「タイムベント」

辰巳シンジ「orz…」

シンジ「タクミ先輩は…」

タクミ↓クウガ、龍騎、ブレイド、響鬼、電王、キバ、オーズ  
セツナ「ようやくクウガの適合が！」

タクミ「笑顔つてところで制限があるからね」

アスカ「今思うとブレイド、ディケイド、オーズは制限軽いわね」  
操緒「確かに」

智春「カズマさんは…」

カズマ↓龍騎、カブト、ディケイド、Wジョーカー、オーズ

カズマ「あれっ？意外と少ない」

辰巳シンジ「因みに、カズマと僕でWだから」

全員「「ああ…納得」」「」

アスム「僕はどうでしょう？」

ワタル「アスムなら…」

アスム↓龍騎、ディケイド、Wサイクロン、オーズ

アスム「カズマさんよりも少ない！」

セツナ「なんらかの異端という条件ぐらいしか満たさないからな…」

シヨウイチ「ソウジならどうなんだ？」

ソウジ「ん？」

ソウジ↓クウガ、龍騎、ブレイド、響鬼、ディケイド、Wサイクロ

ン、オーズ

全員「「ああ…なんか納得がいく」」「」

ソウジ「ん？」

ユウスケ「ソウジさんでもアギトは無理か」↑帰ってきた

夏海「ソウジさんはなんか魔力とかそういう類のものはありません

よユウスケ！」

士「それでも結構多いな」

ソウジ「次は…良太郎君はいないからワタル君だな」

ワタル↓アギト、龍騎、ブレイド、ディケイド、Wジョーカー、オ

ーズ

全員「「ようやくアギト適合が！」」「」

ワタル「えええ…なんで？」

アスム「ファイガイアの王だからでは？」

ユウスケ「何か納得」

カズマ「うんうん」

ワタル「ライフエナジー吸いますよ？」

キバット「ワタルウ。落ち着けて」

夏海「次、士君ですよ」

士↓龍騎、ファイズ、W、オーズ

士「Σ俺はこれだけか！？」

テル「少ねえな」

士「お前はどうかんだ！」

エンマ「テル君は…」

テル↓超適合能力により全ライダーに変身可能

全員・エンマテルハルカ「「なんだとおおおおおお！！？」

「「「」

テル「煩い！」

カラル「よく思いたしなよ。本編でデルタに変身してるじゃないか」

巧「デルタは基本的に制限皆無だぞ？」

テル「まあ適合条件はクリアしてるしな」

ワタル「ちよっ…キバとファイズやってみてくださいよ！」

テル「メンドッ。じゃあねえか」

「555 スタニンバイ」

テル「変身！」

「コンプリート」

Tファイズ「これでいいか？」

セツナ「次、キバ」

キバット「ガブツ！」

テル「変身！」

Tキバ「これでいいか？」

セツナ「Wは？」

テル「んー？」

「サイクロンジョーカー！」

TWC「単独変身だ！」

智春「オーズは？」

テル「わかったよ。変身！」

「タカ！トラ！バッタ！…タツツバ、タトバ、タ・ト・バ！」

「タカ！クジャク！コンドル！…タ〜ジャ〜ドル〜」

「クワガタ！カマキリ！バッタ！…ガ〜タガタキリツバ♪ガタ  
キリバ♪」

「ライオン！トラ！チーター！…ラタラタ〜ラトラーター♪」

「サイ！ゴリラ！ゾウ！…サゴーズ、サゴーズ！」

「シャチ！ウナギ！タコ！…シャシャシャウタ♪シャシャシャウタ  
♪」

「コブラ！カメ！ワニ！…ブラカ〜ワニツ♪」

「タカ！イマジン！ショッカー！…タマシー！タマシー！ライダー魂  
〜！」

「プテラ！トリケラ！ティラノ！…プットティラ〜ノザウルス〜」  
TオーズPTT「これで文句ないだろ？」↑ストレインドゥームの  
かまえ

エンマ「結論。テル君は人外に等しい」

ハルカ「設定では生身でも力テゴリ〜Kと互角以上の戦闘力だから  
ね」

全員（（怖いなあ））

テル「それじゃあエンマとハルカは？」

エンマ& amp; ハルカ↓龍騎、カブト、電王、ディケイド、オーズ  
アスカ「二人共共通！？」

エンマ「僕ディエンドだし…」

ハルカ「あたしは…ネタバレだから言わないわ」

テル「因みに、コアメダルの適合はエンマが赤一色適合でハルカは  
青一色適合だ」

エンマタジャドルはコンドルレッグ強化

ハルカシャウタはシャチヘッドの潜水時間が3時間から6時間。  
水流強化

ハルカ「それじゃシンジ君からいきますか」

シンジ↓クウガ、アギト、龍騎、ブレイド、カブト、電王、デイク  
イド、オーズ

セツナ「シンの適合数は多いな」

智春「というか人外判定以外全部適合だよ」

シンジ「でもなんでアギトとデイクイド？電王は特異点らしいから  
わかるけど…」

セツナ「黒コアを一時的に取り込んだ」

智春「この世界には無いはずのリングを使える」

アスカ「なる程」

シンジ「ええええ…」

操緒「トモは？」

智春↓アギト、龍騎、ブレイド

智春「結構少ない！？」

操緒「何でアギト？…ああ、機巧魔神か」

和葉「セツナは？」

セツナ↓アギト、龍騎、ブレイド、電王、オーズ

セツナ「少ないんだか普通なのか…」

和葉「微妙ね」

シンジ「アギトは…地球の本棚か」

アスカ「あたしは？」

アスカ↓龍騎、ブレイド、オーズ

アスカ「全部制限が軽い…orz」

シンジ「アスカ、元気だして」

~~~~~

テル「どうだった？」

全員「」「テルとシンジの異常性がよくわかりました」「」  
シンジ「えええ…」

## ファイル14 「夏だ！暑いよ！我慢大会！」

士「あ…っ…い…」

夏海「そうですね。何とかありませんかね？この暑さ」

ユウスケ「海東、お前海つて入ってるんだから何とかしやがれ」

海東「むちやを言わないでくれるかい。それにナツメロンも海が入ってるじゃないか」

士「写真館の冷房は壊れてるしな…。しかも…」

ソウジ「みんなー、おでんができたぞー」

士「何でこんなくそ暑い時におでんなんだああああー！」

カズマ「いいじゃん、チーズ。夏は汗をかいた方がいいんだよ？」

ユウスケ「それじゃ、俺もカレーを作るか」

海東「もはや我慢大会だねえ」

士「ん？我慢大会だと…？」↑黒い笑み

夏海「まだなんか考えてますね…」

リイマジ全「「おでんうまー！」「」（＜―＞）」

〃〃〃

テル「で、こうなつたわけと」↑破壊神オーラ

辰巳「ざけんなよ、もやし」↑破壊龍神オーラ

シンジ「門矢先生1人でやっててくださいよ」↑超越神オーラ

エンマ「うわっ、うちの3強が揃ってる」

ハルカ「後はあいつが本編に登場すれば四天王ね」

全員（（だれなんだ？最後の1人って））

ショウイチ「で、士。何をするんだ？」

士「ふっふっふ…我慢大会だ！」

全員「「我慢大会！？」「」」

士「そうだ！ソウジのおでんにユウスケのカレー、冬に食べるもの

を食べて我慢出来るかを競うんだ!」

操緒「それって現在進行形でグリード化してるトモが有利なんじゃ

…」

セツナ「正直、3強は全員大丈夫なん」

3強「何か言ったか?」

セツナ「いえ、何も…」

シンジ「闇鍋を作ってたんでちょうどよかった」

セツナ「何故作った!？」

シンジ「なんとなく」

智春「流石は超越神」

シンジ「トモ兄、何かいった?」↑変身準備OK

智春「ごめんなさい…」

ワタル「それじゃあ、闇鍋↓カレー↓おでんの順番で食べましょう」

アスム「その順番の根拠は？」

ワタル「何が入ってるか分からないものから済ませて、最後におでんで口直し…」

RUクウガ「ワタル?」

Rジョーカー「ちよつと裏にこい」

ワタル「しまった…」

タクミ「えーっと、始めていいのかな？」

ソウジ「いいんじゃないか?何が入ってるんだろっな…」↑闇鍋に箸

弟切「…」↑鍋から出てきた

シヨウイチ「何故、人間というかワームが出てきたああああああ!?」

ソウジ「…」↑形容出来ないオーラ

弟切「カアブトオオオオオ!復活したぞおおお!」

ソウジ「変身」

「ヘンシン キャストオフ…チェンジビートル」

カブト「ハイパーキャストオフ」

「ハイパーキャストオフ…チェンジハイパービートル」

カブトHF「…消えろ、虫けら」

「ハイパーキック」

弟切「ぐわああああああ!!」

セツナ「ひつでえええええ!!」

和葉「それよりなんでこんな者が…」

シンジ「あー、何かミスって」↑帰ってきた

シヨウイチ「すげえな、おい」

ユウスケ「では、そんなシヨウイチさん。次お願いします」

シヨウイチ「ああ」↑箸を以下略

フーデイン「……………」↑鍋から以下略

シヨウイチ「なんでポケモンがああああ!?!」

シンジ「ちゃんと食べてくださいね」

シヨウイチ「食べるか!!」

辰巳「それじゃあ、俺も」↑箸以下略

レン「……………」↑鍋か以下略

辰巳「レンさん!?!」

カズマ「とうっ!」↑は以下略

ムツキ「……………」鍋以下略

カズマ「ムツキイイイ!」↑キングフォームに直接変身

「ロイヤルストレートフラッシュ」

ブレイドKF「うえええええい!!」

ムツキ「ぎゃああああああ!!」↑消し炭

タクミ「てい!」↑以下略

タイガーオルフェノク「……………」↑な以下略

ファイズBF「百瀬えええええ!!」

「エクシードチャージ」

百瀬「ぎゃああああああ!!」

ワタル「えい!」

キバット「……………」

ワタル「キバット!?!どうりでいないと思ったたら!」↑キバット踏



オースPTTにより全員冷やされました

〃  
〃  
〃

テル「この位の気温ならおでん食っても大丈夫だな」

エンマ「実際、トモ君に最初から頼めばよかったのに…」

全員「「おでんうまい（<―>）」「」」

ソウジ「まだまだおかわりあるぞ」

## ファイル15 「未来編スタート記念 10年後との座談会！」

テル「未来編がついに始まったな」

士「そのおかげで主人公のはずの俺がでれないがな」

ユウスケ「士、実際はシンジ君達のほうが主人公だぞ？」

海東「君らはまだ出番があるからいいよ。僕なんてねここできしか出番がないし、いつも爆発させられてるんだからね！」

士「当然のむくいじゃないか？」

シンジ「あんなこととして許されるとても？」

海東「泣くよ！」

辰巳「泣くな。その辺で爆発してろ。というか爆発するか？」↑破

壊龍神オーラ&龍騎デッキ装備

海東「orz」

セツナ「まあ、リイマジ救済策なんで仕方ないかと」

智春「僕の出番は後半になってからみたい」

操緒「クラインメンバーはほとんど出番ないしね」

和葉「クラインメンバーで序盤登場確定なのは私と10年後のお兄ちゃんだもんね」

クラインメンバー「orz」

10年後智春「ん？呼んだか??」

10年後セツナ「あー、多分違うと思う」

10年後シンジ「俺は出ていいのだろうか」

アスカ「シンジが2人!？」

シンジ「10年後の僕？」

エンマ「本編未登場だよな」

ハルカ「いいんじゃない。ギャグの世界だし」

10年後シンジ「そんな問題じゃないと思うが…」

辰巳「どうでもいい。さっさと始めろ」↑破壊龍神オーラ

〜

テル「それじゃあ、作者が座談会のテーマを作ってるからそれに沿っていくぞ」

全員「「はい」」

エンマ「最初のテーマはこれ」

・死ぬ気の炎って何？

シンジ「なんか前にやったような気が…」

10年後シンジ「あー、波動占いの時だろ」 ファイル07参照

セツナ「それじゃあ、頼む」

10年後セツナ「わかった。そもそも死ぬ気の炎というのは裏社会に伝わるリングから発せられる炎の総称だ」

10年後智春「7属性あって、全てが天候に関係している。大空、嵐、雨、晴、雲、霧、雷だ」

テル「基本的に紫電属性はどの属性にも属さない。こういうのをシークレット属性という」

エンマ「現在確認されているのはシンジ君の紫電属性の他にもう1つあるんだ」

10年後シンジ「実際のところ紫電属性は雷属性の亜種とも言っていないだが雷属性を上回る力をもっている」

ハルカ「もう1つのシークレット属性は雪属性で白いく雪のような炎なの」

セツナ「あれ？軽く矛盾してるような…」

テル「それは気にするな」

アスカ「雪属性ってたしかREBORN!のゲームであつたわよ」

智春「作者の概念として本編に登場していない属性はシークレットなんだって」

10年後智春「話を続ける。各属性はそれぞれに特色というものが

あるんだが…これは本編で語ることにしよう」「  
10年後セツナ「それじゃあ次のテーマは？」

・10年後のみんなは何をしてるの？

テル「軽くネタバレ入るよな」

エンマ「じゃあ、バラしても問題無いやつだけ」

10年後シンジ「俺に関してはノーコメントだ。アスカは俺と結婚してる」

アスカ「当然じゃない。あたしとシンジが結婚するのは宇宙創世の時から決まってるんだから」

シンジ「それは行き過ぎじゃないか？」

10年後セツナ「リイマジメンバーはソウジさんとタクミ先輩を除いてデイクイド本編の職業。シヨウイチさんは警官、タクミ先輩は会社を作って成功している」

タクミ「10年後の僕っていったい…」

ソウジ「俺は何をやってるんだ？」

10年後セツナ「ソウジさんはノーコメントで」

シヨウイチ「嫌な予感しかないが…」

10年後智春「クラインメンバーはノーコメント。僕はどうせ51話で話すし、和葉は特に出番ないとはいえないか…」  
シンジ「それでは次いつてみるか」

・10年後のみんなは結婚してる？

10年後シンジ「俺とアスカはさっきいった通り。セツナは活動報告での10年後ボタン参照」

いちおうURL↓<http://mypage.syosetu.com/mypageblog/view/userid/139932/blogkey/221794/>

セツナ「相手がだれとは明言されてないが…」

テル「それは展開上ネタバレになるから×」

10年後セツナ「シヨウイチさんは陶子さんと結婚してるし、タクミ先輩も由里先輩と最近結婚してましたよ」

10年後智春「クラインメンバーは結婚してないな…。和葉を除いて」

和葉「あたしだけ!？」

あ…なんかわかった  
操緒

エンマ「僕らはこの世界の住人じゃないし、写真館メンバーも旅をしてるからね」

テル「一応、士達もでる…かもしれない」

〃  
〃  
〃

テル「いくらか伏せたからな」

海東「さてと、10年後の世界のお宝でも…」

龍騎SV「させるかよ」

「ファイナルベント」

ファイル15 「未来編スタート記念 10年後との座談会！」（後書き）

次回は多分コラボ！

## ファイル16 「ガタツクさん追悼の回」俺がバースだー」

テル「先日の歌詞の無断転載騒ぎでユーザーIDを削除されてしまったガタツクさんの依頼を受けて、予定していたコラボの内容ではなく特別枠でお送りいたします」

オトヤ「だからと言って、なんで呼んだ！」

ハジメ「全くだ。しかもネオにとどめをさすときに」

アインハルト「前回コラボしたときもそうでしたよね？」

ヴィヴィオ「でもネオは倒してくれたからいいんじゃない？」

エンマ「今日のゲストはガタツクさん新ためバースさんの作品」「仮面ライダーダークキバ」から登オトヤ君、剣立ハジメ君、アインハルト・ストラトスさん、登ヴィヴィオさんです」

ハルカ「見事にスルーしたわね」

シンジ「で、この書類の山は？」

テル「作者の預かったガタツクさんの亡骸だ。火葬しておいてくれると」

アスカ「なんかねえ」

セツナ「それじゃあ、前回と同じく座談会形式でいくか」

~~~~~

土「作者にとってガタツクさんは自分の視野を広げてくれた存在らしい」

ユウスケ「リリなのとかアスラクとかに興味を持ったのはガタツクさんの作品のおかげだもんね」

智春「僕らクラインメンバーがここに登場できたのもガタツクさんのおかげですから」

オトヤ「え、そうだったの!？」

セツナ「ああ。一番最初のコラボの時にな」

ハジメ「考えてみると、俺達、少しピンチだよな」

アインハルト「どういうことですか？」

ヴィヴィオ「あたしとアインハルトさんみたいな原作キャラは大丈夫だろうけど…オト兄とハジメさんが…」

テル「運営がどんな対応を取るかで決まるからな…」

エンマ「復活出来てもまた削除されちゃったらね…」

ハルカ「じゃあ、各作品について作者が覚えている範囲内で見直していきますか」

ディケイド対オールライダー

ソウジ「ガタツクさんの第1作目だったな」

ショウイチ「作者が閲覧したのは結構後だったかな」

カズマ「でも、いろんな仮面ライダーが出て面白かったよ！」

オトヤ「ここで真・最強形態が生まれたんだよな」

ハジメ「DCDキバででたのはキバのドガバキエンペラーにブレイドのスピードフォーム、響鬼の戦国装甲だったよな？」

アインハルト「他には…クウガとWは映画でも登場したので除外して…」

ユウシンセツ「…おい！！」

タクミ「ファイズがキャノンフォーム、龍騎がトリプルサバイブでしたね」

辰巳「NOVEL大戦で登場したな」

ヴィヴィオ「残りはスピノフでしたけどね…」

アスム「カブトがパーフェクトフォームでアギトがトリニティシャイニングでしたね」

智春「後オーズには改定前にタトバアंकコンボで改定後にはタジヤドルアंकコンボがあった」

DCDキバシリーズ

テル「これは作者が初めて閲覧したガタツクさんの作品だな」

エンマ「君達はDCDキバシリーズの世界の住人だもんね」

オトヤ「一応、ダキバは復活するらしい」

ヴィヴィオ「でもオリキヤラは変わる可能性があるって…」

ハジメ「それ、本当？」

アインハルト「変わらないことを祈りたいです」

シンジ「話をもとに戻しますが、これはキバの世界とリリなのクロスでしたね」

10年後シンジ「展開の中にしっかりとライダー要素と恋愛要素が入って、なかなか面白かった」

セツナ「実質的にメインのシリーズだったからな、通算1000回目の記念もやってたな」

アスカ「DCDキバならオールライダーもやってたわね」

操緒「うん。結構楽しみにしてたのにな」

オトヤ「僕的にはホッとしてます…」

ワタル「そっちの僕となのはさんが戦うからでしょう」

アインハルト「それをいつたらカズマさんとフェイトさんだって…」

ヴィヴィオ「アスムさんとはやてさんも足そうか？」

鳴滝「おのれデイケイド。貴様のせいでいくつも世界が破壊されてしまった。おのれデイケイドオオオオオオオ!!」

デルタ「黙れ」

「エクシードチャージ」

仮面ライダー×アスラクラインシリーズ

DCDキバメンバー「「鳴滝さあああああん!!」」

10年後智春「ほっとけ、あの馬鹿は」

操緒「10年前とから性格変わった？」

テル「仕方ない。REBORN!におけるラル・ミルチ設定だからな」

智春「完結していたのがダブクラで現在進行形がオズクラでしたね」  
和葉「あたしの活躍があったから楽しみだったのに…」

セツナ「仮面ライダークロガネも消えたからね…」

アスカ「最強のチートライダーでも世界の消滅には勝てなかったか…」

オトヤ「なんか過信してるみたいですけど…」

ハジメ「スペックはWCと同じなんだからな？」

ヴィヴィオ「でも能力がね…」

アインハルト「結構、好きなライダーだったんですけどね」

智春「僕はオーズだからな…」

10年後智春「俺はバースだし…」

操緒「でも機巧魔神コンボのクハシガネがあるからね…」

エンマ「ネーミングセンス皆無」

オトヤ「実はオズクラで磁石、鎖、歯車のジクルマコンボがあったんですよ」

ヴィヴィオ「登場してないけどね…」

シンジ「それは言わない方がいいよ…」

仮面ライダー×仮面ライダー×仮面ライダー 超D C D スピンオフ！！

テル「このスピンオフと同様のコント劇だな」

シンジ「僕らもお邪魔しましたね」

アインハルト「この間の料理はおいしかったですよ！！絶対優勝だと思ってましたから」

オトヤ「だからお前はどっちの味方じゃああああああああ！！」

ヴィヴィオ「ハジメさん達のも評価してあげて！」

セツナ「そういえば、ハジメ君のあのクッキー美味しかったぞ？」

ハジメ「ありがとな」

アスカ「でもシンジの方が美味しいわよ！」

ユウスケ「惚気るのも大概に……」

「ジョーカー！マキシマムドライブ！」

シンジ「ふう」↑ロストドライバー＆ジョーカーメモリをしまつて  
リングにマモンチェーン巻きながら

全員「……」↑閉口

オトヤ「あんなにシンジさんって怖いんですか？」

セツナ「ああ。怒るとな……」

シンジ「なんか言つた？」超越神オーラ

セツナ「いえ、何も」

アスカ「このスピノフには番外編もあつたわね」

アインハルト「そうでしたね」

## NOVEL大戦

ヴィヴィオ「DCDキバとダブクラのNOVEL大戦でオト兄とハ  
ジメさんがでたよね」

ハジメ「正確には変身しただけど……」

シンジ「ここで登場したのがWアスラエクストリーム」

智春「正直、あれが一番のチートだと思う」

アスカ「あながち間違つてないかも……」

オトヤ「もう一つが人気投票の結果で生まれた、DCD龍騎とDC  
DファイズのNOVEL大戦」

アインハルト「二人共かつこ良かったですね」

セツナ「スピノフではタクミ先輩、地獄兄弟化してたから不安だ  
つたけどな」

和葉「でもかつこ良かったよ」

~~~~~

テル「それじゃあ火葬は破壊龍神辰巳シンジ頼んだ」

龍騎SV「後でお前締める」

オトヤ「それじゃあ、黙祷」

全員「」………「」↑黙祷

ハジメ「黙祷やめ」

アインハルト「それじゃあ」

ヴィヴィオ「お願いします」

龍騎SV「いくぞ」

ドラグランザー「グオオオオオオン」

「シュートベント」

ゴオオオオオオオオオオ！！

ガタツクさん今迄有難うございました！！

今度はバースさんとして活動頑張ってください。

もしもガタツクさんの作品を見てなかった人は辰巳シンジと碇シンジとテルが爆発させにいきますからね（笑）

ファイル16 「ガタックさん追悼の回」俺がバースだ！」(後書き)

それではガタックさん改めバースさん復旧頑張ってください！

## ファイル17 「検証！ポケとツツコミの黄金比率！！」

エンセツシヨウ「このタイトルは何だああああああ！！？  
？」

ソウジ「おお……↑驚いた

テル「しよっぱなから叫ぶなよ」

エンマ「いやいやいや！何この黄金比率ってこのツツコミが圧倒的に不足してる状況で！！」

セツナ「まったくだ。他にもツツコミはいるが、影薄いしな」

影の薄い皆様「それを言うなあああああ！！」

シンジ「あれ？でもセツナって何でツツコミになったの？設定だとポケだった筈なのに」

セツナ「どっかの色ポケカップルのお陰様でな！」

シンジ「誰だろ？」

アスカ「さあ？それよりシンジ、今度のデートどこに行く？」

シンジ「そうだね……」

シヨウイチ「自覚症状無しかつ！！」

ソウジ「まあでも、初期に比べたらマシだぞ？シヨウイチ」

カズマ「一時期ピンク色の靄がかかってたよね」

辰巳「あれは独り身にはつらかった……」

エンマ「話が脱線してますよ！！」

ハルカ「あれ？人気投票の結果発表は？」

全員「あつ……………」

ツツコミ3大神「作者あああああ！！というかこの名称はなんだあああああ！！」

テル「作者からの伝言、「思った以上に票が集まらないから投票を続ける」ってさ」



シンジ「作者から聞いてきました。「詳細は多分本編で、後ギャグで人は死なないし主人公補正がある」だそうです」

アスカ「初期設定では主人公は門矢先生、シンジ、門河だったわ」  
士「ちなみに海東は？」

シンアス「ギャグ要員」

海東「orz」↑復活したが精神ダメージで沈黙

ハルカ「まあテルの場合だとさらに管理者補正やらオリキャラ補正やらがあるからね」

シヨウイチ「管理者補正はいいがオリキャラ補正はなんだあああああああああああ！！？？」

タクミ「そのまんまの意味では？」

ユウスケ「あれ？タクミ君ってツツコミだったけ？」

タクミ「設定ではツツコミです」

アスム「ソウジさんは絶対にボケですね。ソウジさんがツツコミをいれるのが想像できない」

シンジ「まあねえ。あれ？俺ってどっちだったけ？」

セツナ「設定ではツツコミだが、それ以上にお前は超越神だろうが」

シンジ「超越神って」↑苦笑

エンマ「自覚ないの！？」

セツナ「元々、超鈍感だったからな……それが影響してる可能性がある」

ワタル「そういえばシンジって自分が結構モモテることに気づいてない」

セツナ「今それは関係ないぞ？」

ユキタカ「おー、随分とカオスな世界だな」

テル「お前が展開するカオスよかマシだ」

ハルカ「あ……四天王そろった」

全員「……えっ！？」

シヨウイチ「ツツコミ」大神はまだいいが、四天王はなんだああああああ！？」

ハルカ「破壊龍神辰巳シンジ、超越神碇シンジ、究極神ユキタカ、でもって神を超えた存在門河テル」

エンマ「テル君が神を超えた存在って………あながち間違ってないな」

シンジ「辰巳さんが破壊龍神というのは本編でも垣間見えるんですが、俺ってなんで超越神？」

セツナ「自覚ないのか？アスカさんをナンパした数人の男を一睨みで黙らせた人間が」

アスカ「あの睨みはお義父様譲りね」

コウガ「あの髭眼鏡か？」

テル「お前の出番は後だ！！この愚弟！！」

コウガ「へん、優遇されてる馬鹿兄貴！！」

辰巳「兄弟喧嘩はよそでやれ、煩い」↑破壊龍神オーラ

テル「ほう？」↑破壊神オーラ

コウガ「やべっ、退散退散」↑怯えながら退場

テル「たつく、どっから湧いてきやがった、あの愚弟が」

エンマ「ゴキブリじゃないんだからさ」

シンジ「仲悪いんですか？」

ハルカ「超絶に仲悪いわよ。何故か」

セツナ「だが、なんだかんだいって逆らえないと」

士「にしても、本題はどこに行った？」

テル「結論、ボケとツツコミの比率はボケが圧倒的に多い方がいい。それでいいだろ」

エンマ「適当過ぎる！？」

## ファイル18 「恐怖！ポイズンクッキングー！」

テル「タイトルに不安しか感じない…」

エンマ「そんなこと言わないで!？」

テル「だってそうだろ!？まともに料理できるのは俺にシンジに惣流に翡翠にリイマジにあと智春と水無神と苑宮だろ!？」

ハルカ「なんで私が入ってないのよ!？」

ユキタカ「というかオリキャラが入ってないのはどういうことだ!？」

コウガ「というか、馬鹿兄貴。俺もまともに料理できるぞ?」

テル「すまん。忘れてた」

ハルカ「そうじゃなくて、なんで私はいってないの!？」

テル「言っておくが、お前の料理は相当毒物に耐性がないとダメだ。… たつく猛毒・麻痺・火傷・石化・鈍足・封印・氷結・呪殺・虚弱と状態異常のオンパレード料理を作る人間がまとも言えるか?」

セツナ「Σいや、オンパレード超えてるだろ!？」

和葉「カオスしか感じないなあ…」

コウガ「ついでに言っておくが兄貴、赤牙と響はシンジが教えてもまともな料理にはならないぞ?」

シンジ「そういえば、トウジが一発で心肺停止状態に…」

アスカ「キャッスルドランの食事ってどうなってるの?」

アスム「妖精さんが作ってくれてるんです」

ワタル「違います。アームズモンスター達に作らせてるんです!」

辰巳「というか、いつ作るんだよ。料理は」

ソウジ「んー、おやつにケーキ作ってきたんだが…」

ショウイチ「Σいつの間に作った!？」

ハルカ「あら偶然ね。私もクッキー作ってきたのよ」

エンマ「随分とご都合主義だな…」

ハルカ「一番最初に食べてくれるって?ありがとーエンマ」

エンマ「しまったあああああああ!!」

智春「あーもしも。伊達さん? 急患が多発するんで来てもらえますか?」

操緒「トモなにやってんの!？」

智春「いや、医者を呼んだ方がいいかなって」

和葉「リツコさんは……………当てになんないか」

コウガ「新型蘇生薬の実験台にされるぞ? スピンオフだとEVAとDCDリイマジに共通するキャラはDCDリイマジベースでEVAをプラスだから」

シンジ「だから初号機に乗った記憶があるのか…」

アスカ「それがスピンオフクオリティ」

セツナ「そんな問題じゃない…………」

テル「それじゃあ逝ってみるか」

エンマ「Σ字が違う!!」

~~~~~

ハルカ「はい、どうぞ」↑おぞましいクッキーを持ってくる

ソウジ「冷蔵庫に入れておいたし、丁度いい具合になってるはずだぞ?」↑おいしそうなケーキを持ってくる

ユキタカ「ハルカのはいらん!」

コウガ「めずらしくユキタカさんが断言した」

テル「お前はこれでも食ってる!」↑ユキタカにハルカのクッキーを投降

ユキタカ「ぐはっ!!」↑猛毒、麻痺、氷結

エンマ「というかアスラクとエヴァメンバーが既にソウジさんのケーキをおおおおおお!!」

エヴァ&アスラクメンバー「「「ケーキうまー!!」(>|<)「「」

タクミ「これで僕らには死しかありませんね」

ワタル「ええい! こうなったら潔く食べましょう!!」

DCDメンバー&オリキャラ全「うおおおおおおお!!」  
↑ハルカのクッキーを食べる

DCDメンバー&オリキャラ全「ぐわあああああああああ  
あああああああああああ!!!!」

士「これはっ…不味いつてレベルじゃ」↑呪殺・虚弱

海東「はははははは…天使の兄さんがいつぱい見えるよ」↑

麻痺・火傷・鈍足・氷結・呪殺・虚弱

辰巳「これって食べられるレベルじゃ…ぐはっ!!」↑石化・封

印・呪殺

カズマ「うえーいうえーいうえーい」↑封印・呪殺・虚弱

アスム「し…ししよっ…ガクッ」↑猛毒・石化・鈍足・虚弱

ワタル「あ…アスムっ…ガクッ」↑麻痺・火傷・石化・封印

タクミ「由里ちゃん…ごめん…帰れない…」↑麻痺・火傷・

石化・封印・呪殺

シヨウイチ「まずっ」↑鈍足

ソウジ「これはなあ…」↑火傷

ユウスケ「……………」

シンジ「あれ？シヨウイチさんにソウジさんに小野寺先生は大丈夫なんですか？」

ユウスケ「いや、俺だけかもしれないけど……効果があとからくるんだよ……！」↑猛毒・麻痺・火傷・氷結

シヨウイチ「大丈夫だ……あとから体が石化してきた……！！」↑追加効果：石化

ソウジ「あ……なんか体が痺れてきたなあ……」↑追加効果：猛毒・麻痺

セツナ「あれ？オリキャラメンバーは？」

アスカ「セツナもじゃ……ああ、エヴァ判定なんだ」↑設定資料読みながら

操緒「Σどっからもってきたの!？」

エンマ「………グフツ」↑猛毒・麻痺・火傷・石化・鈍足・封印・氷結・呪殺・虚弱

智春「エンマさああああああああああん!!」

和葉「なんでっ!?!かなり慣れてそうな人がっ!?!」

テル「エンマは毒物に対しての耐性が薄いからなあ」

コウガ「ほんとほんと」

ソウジ「なんで君達二人は平気なんだ？」↑いち早く復活

テル「あいつのポイズングッキングは今に始まったものじゃないからな。……それこそ小学生のころから食わされてたから……」

コウガ「俺はその巻き添え。そのおかげで耐性がついた」

全員「（（いったいどのくらいの間、食べさせられたんだろう……）（））」

テル「コウガ、とりあえず被害が拡大しないうちに食べるぞ」

コウガ「だな。……あつくそつ不味い!!」

全員「「何故それで済むんだ!?!?」「」」

テルとコウガが気合いで食べ切りました

状態異常になった皆さんは赤木印の死体でも息を吹き返す蘇生薬

によりなんとかなりました（変態もといケンスケで実験済み）

テル「あー、口の中が…」

コウガ「いったいハルカ姉さんどんだけの作ったんだ…？」

シンジ「というか、作り方を教えてほしい…」

ハルカ「えっ…！普通に作ったんだけど……」

タクミ「ΣまさかのREBORN！というビアンキ設定！？」

ソウジ「おーい、アップルパイが焼けたぞー！」

テル「先にもらってもいいか？」

コウガ「口直しがしたい…」

ソウジ「ああ。君達から食べなさい」

シンジ「そういえば…… エヴァにも毒物料理の天才がいたような

…」

セツナ「シン、それは幻想だ幻覚だ。あれだけは思い出たくない」

アスカ「……ブルブルッ」

## ファイル19 「波乱！シンジマジ切れ大運動会！！（前編）」

コウガの介入するEVAの世界にあるジオフロントの一角。ここには某変態とEVA試作機を労働基準法を無視した労働時間で急ピッチで作り上げられた運動場できている。

ゲンドウ「これより、全作品合同大運動会を行なう！！」

コウガ「……説明を要求する！」

ゲンドウ「ふっ、問題ない。中国語では無問題だ<sup>もっまんだい</sup>」

コウガ「問題あるわ！！」↑ハリセンツツコミ

ゲンドウ「ごふう……」

シンジ「運動会か…体育祭に近いのに…」

セツナ「まあ、愚痴を言ってもしょうがない。始めよう」

士「というか、世界が違うのに、何故俺達まで参加なんだ？」

ユウスケ「士、全作品合同運動会だぞ？俺達がいなくてどうする？」

士「まあ、そうなんだが…」

ゲンドウ「それではルール説明とチーム発表をする！」

- ・ 仮面ライダーは変身可能であるが、競技ごとに変身するライダーを決めるので、実質的には自分の変身ライダーは使用不可
- ・ 海東はディエンドライバーを没収
- ・ テルのみ体に5トンの重りを装備し、リレー系統の競技では5秒遅れでのスタートとする
- ・ ちなみに勝ったチームには何も無い
- ・ とにかく、全キャラの親睦を深めようと言うのが今回の運動会の目的である

赤チーム みんな仲良しDCDリイマジ&オリキャラチーム（シンジ、アスカ、セツナはこちら）

白チーム カオスしか感じないEVA&アスラクチーム(チームバ  
ランスを取るためDCDリイマジに出演したアスラクメンバーはこ  
ちら)

エンマ「このルールってさ明らかにテル君封じに入ってたね。…………

無意味なのに…」

ハルカ「まあ、それは放っておきましょう」

テル「にしても、怪我とかした場合ってどうなるんだ？髭眼鏡」

ゲンドウ「大丈夫だ。赤木君と山谷君が救護班に回っている。最悪、  
髪の毛さえ残っていれば問題ない」

リツコ「ふふふふふ…」

ユキタカ「ふーふふのふー」

コウガ「不安しか感じないなあ…」

~~~~~

## 準備運動

753「それでは、準備運動はイクササイズだ！さあ、付いてきな  
さいー！」

テルディケイド「ざけんなー！」

この後テルディケイドが753をぶん殴って、ラジオ体操になり  
ました

## 第1種目 200m走

さて、実況解説はテルにより簀巻きにされた作者XXがお送りしま  
す。

第1種目は200m走です。今回は各種ライダーベルトを用意し、  
くじ引きで決まったライダーに変身してもらいます  
ちなみに走者は二人決めてください

赤チーム

士「それじゃあ、足の早そうなソウジと門河」

ワタル「まあ、ソウジさんはいいですが…テルさんは何故？」

士「お手並み拝見ということだ。なんか設定見るとエンマは期待出来そうにないんでな」

テル「とりあえず、よろしくな。天道のリイマジ」

ソウジ「ああ」

白チーム

ミサト「勿論ここは私と加持でしょ」

加持「そうだな。あつちの一番怖いのはハンデが付いてるからな」

操緒（テルさん甘く見ない方がいいんだけどなあ…）

智春（まったくだよ。まあ、現実を見せてやろう）

和葉（夢は寝てから見ろ）

なにやら白チームには険悪な雰囲気が漂っていますが、とにかく行きましよう。

くじ引きの結果、ソウジさんはカイザ、テルはオーズサゴーズ、ミサトばーさんはアクセルトライアル、ロリコンリョウジはG3となりました

ミサトアクセルト「ちょっと！いま私をばーさんって言わなかった！？」

気のせいです

加持G3「俺は決してロリコンじゃない！ただ美少女が好きただけだ！…」

それをロリコンといいますか？

辰巳「さっさとしろ。ただでさえ時間がないんだからな…」↑破壊

龍神オーラ

サー、イエッサー！！

それでは、レディー…ゴー！！

パパパパパパ↑マシンガン連射

全員「走れるかああああああああ！！」

シンジ「作者？」↑オーズドライバー&タマシーコンボメダル

Σごめんなさい！！それでは改めてレディー…ゴー！！

パン！！

走者一斉にスタート！やっぱりソウジさんは速い！

カズマ「ソウジさん！頑張れー！！」

辰巳「ファイトー！！」

タクミ「ほら、親友のショウイチさんも」

ショウイチ「誰が誰の親友だああああああ！！？」

さあ、赤組は応援しておりますが、白組からは応援がまったく聞こえてきません。人望の薄さが垣間見えますねえ。

ミサトアクセル↑「これなら楽勝ね」

ソウジカイザ「まだ行ける！！」

さて、5秒経ちました。テルのスタートです。いやでも5トンの重り+サゴーズでは難し…

テルオーズSGZ「うおりやああああああああ！！」

…く無かったああああ！！？サゴーズとは思えない驚異的なスピードであつという間にトップに躍り出たああああああ！！？

加持G3「もう…無理だ。ギブアップ…ガクッ…」

ここでロリコンリョウジが脱落です！と、その間にテルがゴール。続いてソウジさんがゴール！ミサトばーさんは運動不足ではてながらもゴール。正直トライアルのスペックを無駄遣いしましたねえ

この競技には全員参加です。ただし、超能力者であるシヨウイチさんは参加不可です  
ちなみにライダーベルトは一つのみを受け渡しとなっています  
それではスタート!!

全員「わーっ!!」

ミサト「ふふふ、こうしちゃえば速いのよ!!」↑玉入れのカゴの高さを低くする

加持「流石は優秀な作戦部長だな!!」

智春（あ、シンジがキレたな…これ）↑傍観

操緒↑上に同じ

和葉（制裁はいるかな?）↑以下同文

なにやら白組が反則行為を行なっている!!  
ミサト「私はネルフの作戦部長なんだから、何をしても許されるのよ!!」

士「最低最悪だあああああ!」

ケンスケサイガ「これで俺様も英雄だ!!」

トウジ（ワイはどうなっても知らんで…）↑シンジは怖くて傍観

ユウスケ「変身OK?というか乱闘あり?」

ソウジ「ダメだぞユウスケ。何があっても正々堂々と戦わなければその分自分に帰ってくる」

カズマ「でも、向こうには膨大な量入ってますよ!!」

辰巳「というか、さっさと入れるの手伝え!!」↑地道に入ってるセツナ「まったく!」↑地道に（ry

エンマ「あれ?入らない…」↑玉が入るどころか暴投

ハルカ「あんたはお片づけ競争にきなさい!!」

テル「あれ?そう言えば俺達のライダーシステムは?」

ん?既に受け渡しがあったぞ?

アスム「え？なんでしょうか？」

「スキヤニングチャージ！」

ワタル「まさか……」

シンジオーズTMS激情態「沈め」↑魂ボンバーを白組のカゴに  
白全（智操和トウ除く）「カゴがああああああああ……」

赤全「怖いきたああああああああ……」

ここで碇シンジオーズタマシーコンボ激情態からの制裁が下ったあ  
ああああ……！自業自得ではあるが

ケンスケサイガ「おいおいシンジ！せつかく俺様がかっこ良く決  
めたのに……」

シンジオーズTMS激情態「なに？私はMです。ただのドMです。  
どうぞこの尻を殴り飛ばしてくださいと」

ケンスケサイガ「Σ言ってねええええええ……」

加持「これは反則なんじゃないかな？」

シンジオーズTMS激情態「私は豚です。矮小な豚です。どうぞス  
キヤニングチャージで焼き殺してくださいか。よし、分かった」

加持「Σ解釈が悪魔だああああああ……」

それと、どっちかと言うと白組の方が反則だからな？

兎にも角にも、碇シンジオーズタマシーコンボ激情態により白組は  
続行不能！これにより再び赤組の勝利……！

### 第3競技 借り物競走

自分は一回もやったことがないのですが、面白そうなので入しまし  
たww

テル「wwじゃねえよ……」↑生身ライダーキック

ぐふっ！？……ルールは簡単、紙に書いてあるものを誰からでも  
良いから借りてきてゴールすればよし



エンマ「大地属性のリング」？って持ってるし」  
コウガ（エンマ兄さんの幸運体質はいろんな意味で宝の持ち腐れだ  
と思う…）

マコト「なにこれ、「テルの仲間のミュウ」！？どうやって連れて  
くれば…！？」

マヤ「え、機巧魔神！？なんなんですかあ？」

シゲル「なだよこれ」偉大なる仮面ライダー一号」！？」

オペレーターズはほぼ不可能なお題ですねえ

智春「（「全オーマダル（ライダーメダル含まず）」って、簡単だ  
けどなあ。あれのために勝ちたくないし…）すいませーん、棄権し  
ていいですかー？」

白チーム全滅！それでは結果は？

一着エンマ（幸運体質故）二着アスム（海東連れてった）三着アス  
カ（未来の義父のゲンドウ連れてった）

セツナは精神ダメージで再起不能

白チームは全員時間切れでアウト

そして続く

コウガ「断る！！」

残念。続く

「波乱！シンジマジ切れ大運動会！！（後編）」

前回までのあらすじ…碇シンジ激状態が怖過ぎる

シンジ「さーて作者、次は作者が消える？」

まて！俺が消えたらお前らも消えるぞ！！

シンジ「それもそうだね…。それじゃあ制裁ってことで」

成る程それなら……って、何も変わってねええええええええええ！！

「スキヤニングチャージ！」

コウガ「えーっと、作者がユキタ力兄さんとリツコさんにお世話になることになったので代役で俺が。ここまで、3対0。圧倒的な差で、赤組が勝っています。残りの競技は三つですので、白組はこれに全て勝利しなければ負けとなります」

## 第4種目 綱引き

コウガ「ルールは簡単。我らが誇るマッドサイエンティストコンビにより作り上げられた綱で綱引きです！無論全員参加となっていています！」

土「これで勝てば俺達の勝ちだ！赤組、ファイター！！」

赤全「「「おー！！」」」

智春「とりあえず、これで勝たないと負けちゃうし、頑張っていこ  
うか」

白全「「「おー……」」」

コウガ「白組、まったく声が聞こえてきません！やる気あるのですし

ようか!？」

テル「というか弟よ、お前はやらないのか？」

コウガ「結果が分かり切ってるし…第一あのピア樽とロリコンに協力する義理は無い」

智春「いやでも、一応やつてる僕たちアスラクメンバーの身にもなつてよね？」

アスム「どうでもいいですから早く始めてください!！」

コウガ「それでは、構えて。よい…スタート!！」

ユウスケ「おおおおお!！」

辰巳「おりやあああああ!！」

シンジ「はあああああああ!！」

テル「ファイトー」↑自主見学

ミサト「負けんじやないわよ!！」

加持「俺達は見ているだけだな」

白全「「ひつでえええええええ!！」」

操緒「トモ!グリード化!！」

ギル「あんまりやりたくないけどね。……おりやあああああああ  
ああ!！」

赤全「「おおおおおおお!？」」

コウガ「おおっと!紫グリードギルの力で、白組が巻き返してきたぞ!これは赤組、劣勢k…」

Wシンジ「まだまだあああ!！」

白全「「どわあああああああ!？」」

コウガ「…ではなかったあああ!？」というか、Wシンジ、お前らホントに一般人と中学生かあああああ!？」

一応、辰巳も碇も普通の人間です

コウガ「という訳で、もはや人外に等しくなったWシンジの力で赤

組の勝利!!」

ミサト「まったく使えない奴らね!!」

加持「まったくだ」

ギル「こ…い…つ…ら…!!」↑人間性崩壊寸前

和葉「お兄ちゃん!人間を見失わないで!」

トウジ「もう何も起こらんでくれよ…」

ケンスケ「ククク…こうなれば最終手段だ…」

コウガ「変態がなにやら企んでいるようだが、次行ってみよう」

## 第5種目 格闘技戦

コウガ「ルールは簡単。各チーム3人ずつ選手を出して、戦うデスマッチだ!フィールドは我らがマッドサイエンティストコンビにより作られた、理論上真・最強フォームの攻撃にすら耐えうる新素材で作られた金網に囲まれたリングだ!!」

全員「(…というかあの二人もホントに人間なのだろうか…?)」

コウガ「そして、この戦いに参加する兵どもは!!」

赤組 惣流アスカ&超越神碇シンジ激情態&門矢エンマ

白組 葛城ミサトばーさん&ロリコン加持リョウジ&変態ケンスケ

全員・ミサ加持ケン「(ダメだ、白組が勝てる気がしない)」

ミサト「調子こいてんじゃないわよ、餓鬼どもが!!」

加持「大人の力を見せてやる」

ケンスケ「くくく…これで赤組は負ける…!!」

コウガ「(つくづく最低な奴らだな…)それでは、リングに上がってください!!」

アスカ「それじゃあ行ってくるわねシンジ」

シンジ「いつてらっしい、アスカ」

ミサト「私を怒らせたことを後悔させてやるわ…!!」

赤全「(…無意味なことを…)」

コウガ「それでは、ファイッ！！」ポーン↑木魚  
ツッコミ「大神」「何故木魚おおおおおおお！？」

アスカ「とうえい」

ミサト「ぎゃふっ！？」

全員「……」

コウガ「ピア樽選手、アスカ選手の一撃で沈んだあああああ！？」  
エンマ「弱過ぎる！？」

ワタル「にしても、僕ら出る枠ないですねえ」

鳴滝「おのれデイクイド！！」

フォーゼ「ナルタコスは黙って沈め」

「ロケット ドリル リミットブ」「ネタバレ禁止！！」

テル「翡翠がうまく阻止したな」

コウガ「それでは気を取り直して。……おっと？アスカ選手シンジ選手に手を振っています。シンジ選手も心無しか嬉しそうですねえ」

加持「おりゃー！！」

アスカ「キャッ！？」

コウガ「……いきなりロリコン選手不意打ち。しかも女子の顔面に向かってドロップキックだあああ！？後がどうなっても知らん……殺す殺す絶対殺す、ぶっ潰す、存在消す程ぶっ飛ばす……」  
でにシンジ選手マジ切れだあああああ！！

テル「こうなっては、白組の冥福を祈るしかないな。それでは死合開始！！」

ポーン↑木魚

シンジ「……」↑超越神オーラ&恐竜キマイラオーラ

加持「グフツ、ゴフツ、ガハっ!？」

ケンスケ「……………」↑もはや屍

コウガ「シンジ選手、無言でロリコン選手と変態選手にストレート、フック、アッパー、さらにジャンプしてライダーキック!すでに試合場は地獄絵図と化しています!！」

テル「いま、リツコさんの診察結果が入った、鼻血を出したくらいで傷は残らないようだ」

呑気に話てんな死人が出るだろ!!

ハルカ「作者戻ってきたんだ。それ以前にギャグで人は死なないといったのはあんたでしょ？」

そうでした…orz

コウガ「とにかく、そろそろやばい!」

ポーンポーンポーン

コウガ「死合終了!赤組の圧勝です!それ以前にエンマ選手の出番がなかった!！」

エンマ「いいよ別に。僕自身素のスペックはテル君やコウガ君みたいに高い訳じゃないからさ。逆にラッキーだよ」

テル「それじゃあ、最終種目だ!！」

最終種目 リレー

ルールは走者を各チーム5人決める。アンカーはライダーシステムが使用可能だから、好きなものを選ぶ、制限は皆無だ

走者

赤 ショウイチ↓ユウスケ↓ワタル↓辰巳↓シンジ（選択ライダー：  
オースタマシー）

白 操緒↓ミサト↓加持↓智春↓ケンスケ↓トウジ（選択ライダー：  
西鬼）

全員（（ああ、トウジは関西人だから西鬼なんだ…納得））

さて、既に結果は見え切っているが、ここでMVP賞なるものを公表する！

テル「そんなのあったのか！？」

ああ。最終種目になったら言おうと思ってな

エンマ「ハルカのポイズンクッキングフルコースとテル君の折檻フルコースのどっちが良い？作者」

だが断る！

エンマ「了解。全部だね」

ぎゃああああ！？この悪魔ああああ！！……………とにかく、MVPの商品は…

全員「「商品は何？」」

こんこスピンオフ内でのみ通用する婚姻届だ！！

全員・シンアスケン「「……………（^| ^ ; ……）」」

シンアス「「やったああああああ！！」」

おい、何故しける？というか喜んでるシンジとアスカは分かるとして……………ケンスケお前は何故喜んでる？

ケンスケ「くくくく…これで俺の計画は最終段階に入ったぞ…！！」

コウガ「とにかく、変態の戯れ言は無視してとつとと始めよう。第

一走者は赤・芦川ショウイチ、白・水無神操緒だ」

よいい……………ドン！！

パーン！

両者一斉にスタート！

ソウジ「ショウイチ頑張れー」

辰巳「ファイター！！」

カズマ「頑張れー！！」

シヨウイチ「うおおおおお!!」

智春「操緒、頑張れ!一応相手にはハントデはあるんだから!!」  
和葉「頑張ってー!!」

ミサト「さっさとしなさいよ!!」

ここでシヨウイチさんが先にユウスケにバトンパス!少し遅れて操緒もバトンパスだ!

ユウスケ「うおおおおお!!」

ミサト「ゼエハア…ゼエハア…ゼエハア…」

ミサトばーさんダメ過ぎる、すぐに息切れしたああ!!そうしている間にも差はドンドンと広がっていく!!

士「ユウスケ!今のうちに引き離せ!!」

ワタル「既に勝ち決定してるんですからね!!」

ユウスケはワタルにバトンパス!ワタルって運動苦手だったような気がするんだが…

ワタル「ごめんなさい…一学期の体育の成績1でした…」

そうこうしている間に白組もバトンパス。おおっとロリコン速い!流石は三重スパイだっただけのことはある!!

加持「このまま勝てば!」

ワタル「負けませんよ!!」

ワタルも負けていない!差は縮まっていはいるが、以前赤組がリード!!そして第四走者だ!!

ワタル「シンジさん!」

辰巳「おう!!」

加持「任せたぞ、ケンスケ君!」

ケンスケ「了解であります!!」

さあ、バトンパス。後少して白組は赤組抜けるg…

辰巳「うおおおおお!!」

…やっぱりお前は一般人かああああ！？辰巳シンジ、驚異的なスピードで引き離していく！正直大人げないぞ！！

辰巳「それじゃあ、待つか」

ここで最終ターンで辰巳は立ち止まった！！

ケンスケ「くくくく…おい赤組、というよりもシンジ、惣流のこの写真をバラまかれなくては、白組に負ける！」

こいつ最悪だああああ！？まさかのアスカの盗撮写真をバラまこうとしている！？

シンジ（ブチッ！）

トウジ「Σ！！！？（あかんで、ケンスケ早まるな…！！）」

ケンスケ「おい、トウジ！チャンスだぞ！もたもたするな！！」

さあ、ケンスケはトウジを無視して走り出した！おっと？逆にトウジは喜んでいる！？

トウジ西鬼「よっしゃ、これでケンスケの奴を清められるわ！！」

セツナ「トウジ、殺っちまえ」

トウジがケンスケに追いついてきた！ケンスケにとどめをさすのはトウジか！？

おや？シンジがリュウガを呼び出したぞ？

シンジ「かくかくしかじか」

リュウガ「これこれうまうま…よし分かった。シンジ！早く来い！」

辰巳「悪い悪い」

ここで辰巳シンジもバトンパス。なにやら嫌な予感がするが

トウジ西鬼「行くで！！」

さあ、ケンスケを清めるのは、トウジか！？

ソウジ「いや、あれを見る！」

ブラックドラグランザー「グオオオオオオオオオオオン！！」

SオーズTMS 激情態「絶滅タイム」

トウジ西鬼「ぎゃああああああ！！？」

なんと！リュウガSVから借りたBドラグランザーに乗り、碇シンジ仮面ライダーオーズタマシーコンボ激情態が追いついてきた！！

ケンスケ「おい！シンジ！？お前惣流がどうなっても……」

「SオーズTMS激状態」別に：灰にしまえば問題ない」

ケンスケ「おい……待てええええええええ！？」

SオーズTM S 激情態「ムッコロス！」

「スキヤニングチャーヂ！」

ケンスケ「ぎゃあ ああああああああああああああああ！！！」

どっ  
かーん  
！！

$$\vdots$$

コウガ「という訳で、全作品合同大運動会は赤組の圧倒的勝利！」

MVPはもちろん、碇シンジだ！！

セツナ「ちなみに、ケンスケはその後ブラックドラグランザーで逝く日本一周旅行に逝きました」

↑返事が無い。ただの屍のようだ▼

エンマ「いやー、でもあの超越神、惣流さんが抱きつくまで止まらなかった」

全員（（シンジ（君）を止められるのはやっぱりアスカ（君・さん「惣流さん」）だけなんだなあ……）））

## ファイル21 「結成！オーズ戦隊コンボレンジャー！？」

本日エヴァ&アスラク&オリキャラメンバーは諸事情により留守にしています。

今日は辰巳シンジはシンジ表記となります

夏海「土君！土君！」

土「いいか、フォーゼには設定上アストロスイッチが40個ある。そして。× □それぞれ10づつと考えると組み合わせは1000種類。単純な組み合わせ比べだったらオーズを越えることができる。ただし、オーズは全ての組み合わせがフォームになっているから実際はオーズの127フォームの方が上だ」

夏海「違います！私が言いたいのは…」

土「お前の言いたいことは大体こんな感じだろ？」

夏海「オーズの夏の劇場版で全コンボが集結しましたよね」

ユウスケ「そういえば…」

夏海「あれってどうみても戦隊物にしか見えないんです！」

海東「確かにねえ」

ユウスケ「それじゃあさ、みんなも呼んでやってみようよ！！」

夏海「ですね」

海東「面白そうだね。僕もやらせてもらうよ」

土「まさに陳情…だな」↑薔薇を持ちながら

~~~~~

土「と、いうわけでリイマジライダーズのオーメダル適合を確認しておこう」

ユウスケ↓プトティラ、クワガタ適合

シヨウイチ↓シャウタ、ラトラーター適合

シンジ↓サゴーズ、プトティラ、タジャドル適合

タクミ↓ラトラーター、シャチ適合

カズマ↓ガタキリバ、シャウタ適合

アスム↓サゴーズ、クジャク除く赤メダル適合

ソウジ↓タジャドル適合

ワタル↓ブラカワニ適合

士「ちなみに、コンボ適合があるやつらは一番最初に表記したものだけスペックが上がる」

海東「あれ？それじゃあシンジ君はどうなるんだい？」

シンジはプトティラ適合。ただし激情態になった時のみタマシー適合

コウスケ「で、どんな風に？」

コンボ適合強化←

コウスケプトティラ↓メダガブリューの強化&ストレインドウム強化、暴走の危険性強化

海東「クウガだけに暴走か…」

RUクウガ「海東？」

シヨウイチシャウタ↓ウナギウィップ強化

シヨウイチ「何故ウナギ!？」

ソウジ「作者の心情。ただ単にシヨウイチをいじめたいだけ」

シンジサゴーズ↓全スペックFV並みに上昇（他のコンボも同様）  
全員「「「ちよつ、おい！勝てる気がしない!!」」「」」

辰巳「ライ」

タクミラトラーター↓ライオディアス強化

タクミ「ファイズだけに？」

ワタル「ファイズって光りますもんね」

カズマ「ガタキリバ↓分裂上限10倍、カマキリソード強化

全員「「勝てる気がしない！（数の暴力的な意味で）」」

カズマ「うえええ…、シンジだけには言われたくないよ…」

ソウジ「ジャドル↓タジャスピナー強化、コンドルレッグ強化、飛行速度UP

全員「「勝てる気がしない！（そもそもタジャドル自体がチート的な意味で）」」

ソウジ「ははは！」

アスム「サゴーズ&ワタルブラカワニ↓特に無し

ワタアス「「orz」」

カズマ「えーっと…ドンマイ」

ワタル「どうせ僕らなんて…！」

アスム「笑え…笑ってくださいよ」

士「それじゃあ、行くぞ」

ソウジ「ホワイトはシンジで確定だな」

タクミ「正直、シンジさん一人でもいいような気が…」

ショウイチ「いや、最低でも3人いないと戦隊にならないからな！？」

ユウスケ「そんなショウイチさんはブルーで」

ワタル「シャウタだからですか…」

ショウイチ「何故だあああああー！」

アスム「えーっと、レッドはソウジさんですねえ」

カズマ「今思った、ソウジさんって普通に变身してもレッドだ」

タクミ「え…、ファイズってどっちかと言うとブラックだと思うんですけど…」

海東「黒目アルティじゃないのかい？」

↑ プテラトリケラティラノキマイラオーラ  
黒目R U クウガ「ほう？」

↑破壊龍神オーラ&サイゴリラゾウキマイラオーラ

ワタル「それ以前に話がずれていることと、構成員が多いことにツ

タクミ（それ以上に、シンジさんのオーラがさらに禍々しくなってる…）

「シヨウイチ、シンジ落ちて着けえええええええええええ！」

ユウスケはパープル」

土「いやっ、だが逆に趣旨が戻ってきたから、ソウジに感謝すべき

テル「何か面白そうなことやってんな」

130

ユウスケ「諸事情で今日は来れないんじや……!?!」

テル「それが終わったからな。なんだ? コンボ戦隊オーズレンジャーか?」

士「違う! オーズ戦隊コンボレンジャーだ!!」

ユウスケ「Σいやっ、どっちも同じだから!!」

夏海「そういえば、オリキヤラメンバーの適合ってどうなってるんですか?」

テル「んー、ハルカはシャウタ適合でシャチヘッド強化。エンマはタジャドル、サゴーズ適合で強化コンボはタジャドルでコンドルレツグ強化。コウガはプトティラ、タトバ適合でメダガブ強化とタトバのスペック強化だったな。エヴァメンバーだと、翡翠がガタキリバ適合でバツタレツグ強化。惣流がタジャドル、タマシー適合で強化コンボはタジャドルでタカヘッド・ブレイブ強化ってとこだな」

海東「Σ覚えてる方が凄い!?!」

ワタル「聞きたくないですけど、シンジとテルさんは?」

テル「シンジは知っての通りプトティラ適合で……全スペックSVFV並に上昇。SCはオーデインFV+サイトSVFV+龍騎SVFVだ」

タクミ「(ダメだ…勝てる気がしない…)タマシーは?」

テル「激情態になったときのみ適合で……」

……キック力龍騎FV+龍騎SVFV、パンチ力ナイトFV+ナイトSVFV、その他の能力は5倍。SCは……

……威力500倍だ」

士「ということは……魂ボンバーの破壊力が1000tだから500000t?」

海東「ダメだ、世界オワタ」

テル「ちなみに俺は超適合能力&全スペック2倍な」

全員「……それもそれで勝てる気がしない!!!!」

ワタル「え…じゃあ、エヴァ&オリキャラメンバーで戦隊をやると…  
レッド↓エンマさん、ブルー↓ハルカさん、イエロー↓欠番、グリ  
ーン↓セツナ、パープル↓シンジ？」  
アスム「いや、むしろショッカーレッグを無理矢理イエローと考え  
て、イエローを惣流さんだと…」  
士「いや、違和感ありまくりだろ。というか門河がイエローやれ」  
テル「カレー食えるし、いいか」  
ショウイチ「いや、カレーは関係ないからな!？」  
テル「ついでだから、リイマジメンバーで、やってみてくれ。アド  
リブで名乗りもな」  
全員「「何故だああああああ!!」」

でもやることになりました

ソウジタジャドル「大切な人達を守る、灼熱の翼!タジャドルコン  
ボ!」↑ノリノリ  
ショウイチシャウタ「冷たき水の内に秘めし…熱き魂…!!…シャウ  
タコンボ…!」↑嫌々  
タクミラトラーター「夢を守る烈空の疾風!<sup>はやて</sup>ラトラーターコンボ!  
↑若干恥ずかしい  
カズマガタキリバ「新緑にまぎれし雷撃の剣!ガタキリバコンボ!」  
↑ノリノリ  
シンジサゴーズ「大地の鳴動、振り下ろすは正義の鉄槌!サゴーズ  
コンボ!」↑ノリノ(ry  
ユウスケプトティラ「古代の力で悪しきを砕く氷龍!プトティラコ  
ンボ!」↑ノリ(ry  
ソウジタジャドル「欲望と共に戦うオーズ戦隊!」  
コンボ全「「コンボレンジャー!!!」」↑後ろから花火

ワタル「……」↑着火役

アスム「……」↑上に同じく

士「オチは？」

テル「ない！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0897t/>

---

ディケイド×エヴァ×アスラクライン×REBORN超スピンオフDEAR

2011年11月15日13時22分発行